

対象機種 INT-HD7704-4P INT-HD7732-16P-4 受注生産品
INT-HD7708-8P INT-HD7732-16P-8 受注生産品
INT-HD7716-16P

保存版

Ver. 2.1

初版：2025 年 3 月 14 日発行

もくじ

- p1 ・もくじ ・はじめに
- p2 ・パスワードの取扱に関して ・ログイン ・初期設定 ・初期設定(時刻同期)
- p3 ・初期設定(録画画像設定) ・ライブ
- p4 ・タスクバー表示 ・サブメニュー
- p5 ・再生 簡易再生の時間設定
 - ・A. チャンネルごとに簡易再生
 - ・B. 全チャンネル簡易再生
 - ・C. 通常再生(検索再生)
- p7 ・バックアップ ・USBメモリーのフォーマット
 - ・再生モードからのバックアップ
- p8 ・再生モードからのバックアップ
- p9 ・リモート接続 ・NVR側の設定と確認事項
- p10 ・NVR側のNAT接続の設定
- p12 ・アプリ「SuperLive Plus」の入手 ・アプリ「SuperLive Plus」へのデバイス登録
- p14 ・アプリ「SuperLive Plus」ライブ
- p15 ・アプリ「SuperLive Plus」再生 ・アプリ「SuperLive Plus」再生コントロール
- p17 ・アプリ「SuperLive Plus」からのファイルのダウンロード
- p18 ・PCソフト「NVMS 2.0」のインストール
- p19 ・PCソフト「NVMS 2.0」の起動とログイン
- p23 ・PCソフト「NVMS 2.0」へのデバイス登録
- p27 ・PCソフト「NVMS 2.0」ライブ
- p32 ・PCソフト「NVMS 2.0」再生
- p34 ・PCソフト「NVMS 2.0」バックアップ
- p38 ・メモ

はじめに

この簡易マニュアルでは、INT-HD7700 シリーズ（以降、“NVR” または“本製品” という）の基本操作を簡単に説明したものであり、それ以外の操作や設定は、本製品付属の取扱説明書（英語版）及び日本語版（現在翻訳中）をご覧ください。取扱説明書と関連 PC ソフトウェア等は、本製品添付の CD-ROM に収録されています。アップデートにより内容の一部が予告 無く変更される場合がある為、最新の取扱説明書及び簡易マニュアルは、国内輸入卸元事業者である「有限会社インターラック」のホームページ内からダウンロード頂けます。

本製品の P&P ポートにカメラを接続した瞬間から、カメラ内部の情報が NVR によって書き換えられます。1 度 P&P ポートに接続したカメラを再びネットワーク接続するには、パソコンでの設定が必要となります。

また逆に 1 度ネットワーク接続したカメラを NVR の P&P ポートに接続すると、例外を除いてほぼ何も設定無く接続する事が出来ます。P&P 接続しないカメラを NVR の P&P ポートに接続しないよう、十分にご注意下さい。基本的に P&P 接続は NVR とカメラが同一メーカー（純正品）である事が重大の条件です。仮に何らかの手段で他社カメラが P&P 接続できたとしても、それらに対する弊社へのサポートやご質問はお受けできません。ご了承下さい。

強引に P&P ポートに対応以外のカメラを接続した影響でカメラまたは NVR、またはその両方が故障したとしても保証期間内であっても対象外となります。

民生機の為、修理は行っておりません。保証期間内で発生した修理を伴う不具合には新品交換で対応させて頂きます。新品交換の場合、HDD に保存されたデータも失う事となります。交換全の NVR 内の映像を放棄して頂く必要があります。ご了承下さい。

パスワードの取扱いに関して

この簡易マニュアル内には NVR のパスワードは書かれておりません。

お客様側で変更されたパスワードはメーカーでも調べる事は出来ません。この場合、保証期間内であっても**有料**での修理扱いとなる場合もございます。パスワードの取扱いには十分にご注意ください。

管理者ユーザー名 (admin) は変更する事は出来ません。

ログイン

本製品を使用するには**ユーザー名とパスワードが必要**です。出荷時初期設定の状態では管理者となるユーザー名とパスワードの入力を設定により**省略**しています。お客様が任意的にログアウトされた場合、再ログインが必要です。

- ① 画面左下の **開始** アイコンをクリックし **ログイン** をクリックします。
- ② ユーザー名とパスワードを入力し **ログイン** をクリックします。



初期設定

弊社へのご注文を頂いた際、弊社の基準となる最適な設定で出荷いたします。しかしあくまでも弊社の独断で最適と判断した設定の為、設置環境や設置場所、被写体によってお客様側で好みに変更頂く事もございます。

主に時計設定は NTP サーバ同期 ON、イベント (動体検知) ON、OSD 表示 OFF、NAT (旧 P2P) OFF、メイン及びサブストリーム設定を行っております。

お客様側で本製品を工場出荷リセットされたり、後日カメラを増設すると一部設定を変更する必要があります。

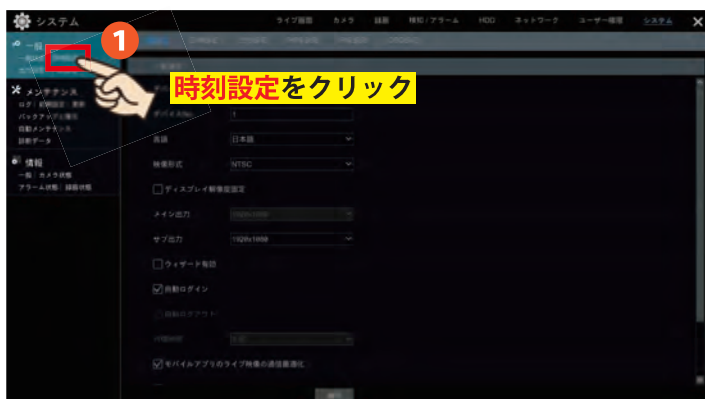
主に重要な 2 か所を開設します。必要な場合は変更して下さい。

時刻同期

本製品はインターネットを介して内部時計を合わせる「NTP 時刻同期」が ON の状態になっています。インターネットを接続する分には問題ございませんが、接続せずに NTP 登記を ON のままご利用頂くと、NVR は宛先の無い所と通信を繰り返し、それが何回も続くと「接続先無し」と判断し、時計が大きくずれてしまいます。インターネット環境が無い、または接続しない場合は NTP サーバ同期を OFF にして頂き、定期的に手動で時計の調整を行って下さい。

う場合があります。

- ① ログイン → **開始** → **設定** → **システム** → **日時設定** → ネットワーク時刻設定の登記を「NTP」から「**手動**」に変更し、上段の日時設定のシステム時間を合わせ、最後に **適用** をクリックして下さい。



録画画質設定

本製品はカメラを接続し何も設定せず NVR 任せにしていると、一応録画は実行されますが aaa 部の設定が製造国の標準設定となってしまう。気にされない方はそのままご利用頂いてもかまいませんが、圧縮率が高い為、色むらやノイズ残像が残る場合があります、特にバックアップされたデータの再生が困難になる場合があります。可能であれば、以下の手順で変更をお勧めいたします。これらは P&P 接続及びネットワーク接続共通です。

手順 ① ログイン → **開始** → **設定** → **録画** → 録画設定の **イベント録画設定** をクリック →

エンコード：全て **H.264** に変更 解像度：接続されているカメラの**最大解像度** FPS：そのカメラの**最大値**

ビットレートタイプ：全て **C B R** ビットレート：**2048Kbps** 音声：全て ON なので、お好みで **OFF**

GOP：FPS と**同じ数値** → **適用**

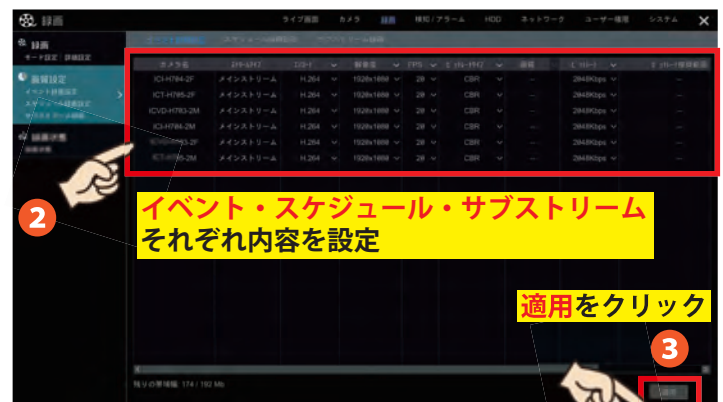
② スケジュール録画設定をクリック →

ビットレートタイプ：全て **C B R** ビットレート：**2048Kbps** GOP：FPS と**同じ数値** → **適用**

③ サブストリーム録画をクリック → モードを自動から**手動に変更**

エンコード：全て **H.264** に変更 解像度：**704×480** FPS：そのカメラの**最大値**

GOP：FPS と**同じ数値** → **適用**

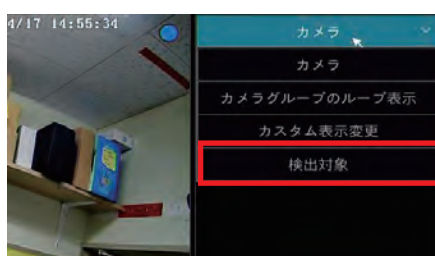
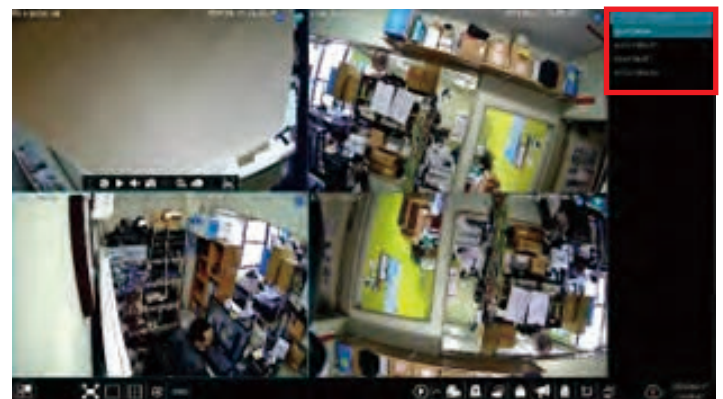
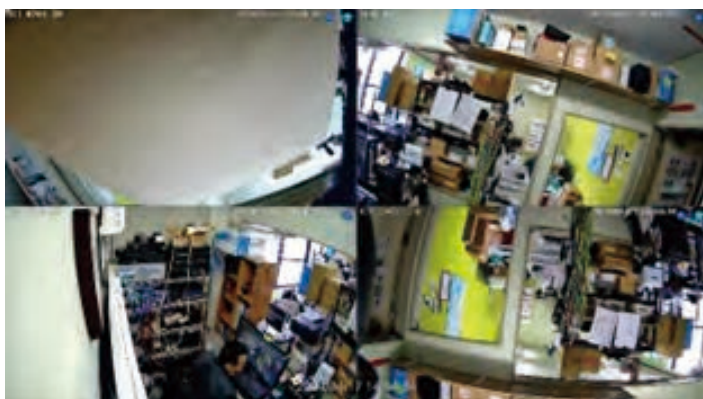


ライブ

弊社の出荷時初期設定状態では**非表示**となっていますが、通常は画面右側に**スマート検知の結果や情報**を表示する枠が表示されます。必要に応じて表示 / 非表示して下さい。

表示されている枠内の上部を押して **検出対象を選択**し、再び**タスクバー**にある **全画面から戻る**を押します。厳密にいうと非表示ではなく見えない位置に収納（折りたたんだ）状態となり、マウスカーソルを画面の右側に移動するとポップアップ表示されます。

※タスクバーの内容に関しては、次をご参照下さい。



タスクバー表示

ライブモードでカメラが接続され映像が映し出された状態で画面下までマウスカーソルを移動させると、**タスクバー**がポップアップされ、ライブ中に様々な操作を実行する事が出来ます。



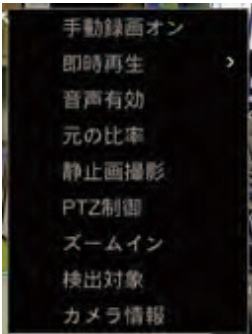
	メインボタン 各種メニューに入る為の重要なボタンとなります		全画面表示 / 非表示		1 画面表示 押す度に表示されるチャンネルが切り替わります
	分割表示 ※1		シーケンシャル表示の開始 / 停止 / 時間設定 ※2		OSD 表示 / 非表示 画面に表示されている一部の文字の ON/OFF
	簡易再生スタート		簡易 / 即時再生時間設定		手動録画 ON/OFF
	アラームの内容を表示		録画の状態を表示		アラームの状態を表示
	オーディオ ON/OFF ※3		HDD の状態を表示		ネットワークの状態を表示
	NVR の状態を表示		クラウドアップグレード ※4		

※1 NVR のチャンネル数 (モデル) により、表示分割数は異なります。
※2 5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒、40 秒、1 分から選択できます。
※3 対応となるカメラがオーディオ対応機種であり、別売の外部スピーカーと外部マイクが接続され、適切な設定がされている事。または内蔵されている事が条件となります。
※4 NAT 接続が ON の場合にのみ有効となります。出荷時初期設定では NAT 接続及び CLOUD アップグレードは OFF の状態となっています

サブメニュー

1 画面表示または分割表示問わず、ライブ映像のどこかでマウスを左ワンクリックすると、分割表示の場合は映像の上下どちらか、1 画面表示の場合は中央下にサブメニューアイコンが表示されます。画面のどこかでマウスを右クリックすると、同じ内容のサブメニューがテキストで表示されます。

メモ サブメニューは 1 画面及び分割表示共に何も操作されない場合、**約 20 秒で消えます。**



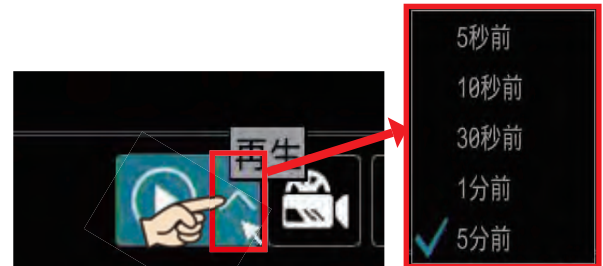
	ドラッグ アンド ドロップでサブメニューアイコンを画面上のお好きな位置に移動します。ただし再表示の際は元の位置に戻ります		手動録画 ON/OFF
	即時再生		スピーカー ON/OFF
	PTZ 操作		静止画キャプチャー
	拡大		画像調整

再生

再生（プレイバック）には、**A: チャンネル毎に簡易再生**、**B: 全チャンネル簡易再生**、**C: 通常再生（検索再生）**、**D: スマート再生**の4パターンがあります。ここでは**D: スマート再生以外**を説明します。

簡易再生の時間設定

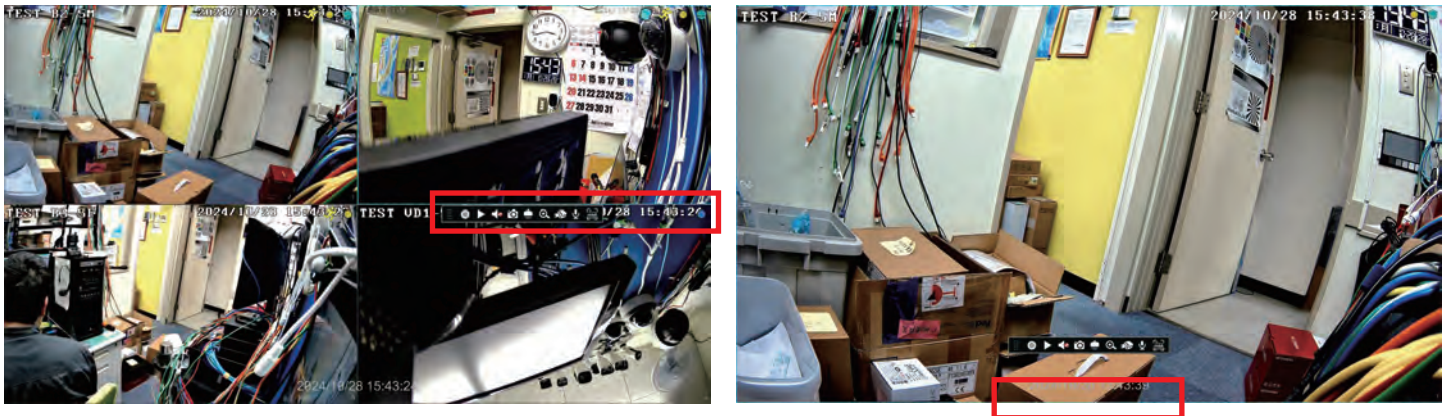
簡易再生の場合、事前に**何分前から再生を開始するか**を設定します。タスクバー上の▶簡易再生アイコンの右側にある▲アイコンをクリックし、何分前から再生させるかの時間を指定して下さい。タスクメニュー上の▶簡易再生アイコンをクリックすると指定した時間から再生が開始されます。



A. チャンネル毎に簡易再生

ライブモードでチャンネル（カメラ）映像の上でマウスを左クリックしサブメニューを表示させ、**簡易再生アイコン**をクリックします。現在時刻から事前に指定した時間まで遡って再生を開始します。時間帯が短すぎるとデータがまだ HDD に書き込まれていない場合があります、エラーまたは再生できない場合があります。

簡易再生で設定された時間から再生が開始され、サブメニューアイコンが再生コントロールに変わります。再生を停止させるには、再生コントロールの ✕ をクリックします。



B. 全チャンネル簡易再生

ライブモードで**タスクバー上の簡易再生アイコン**をクリックすると、現在時刻から事前に指定した時間まで遡って再生を開始します。時間帯が短すぎるとデータがまだ HDD に書き込まれていない場合があります、エラーまたは再生できない場合があります。

簡易再生で設定された時間から再生が開始され、再生コントロールが表示されます。再生を停止させる場合は再生コントロールの ✕ をクリックします。

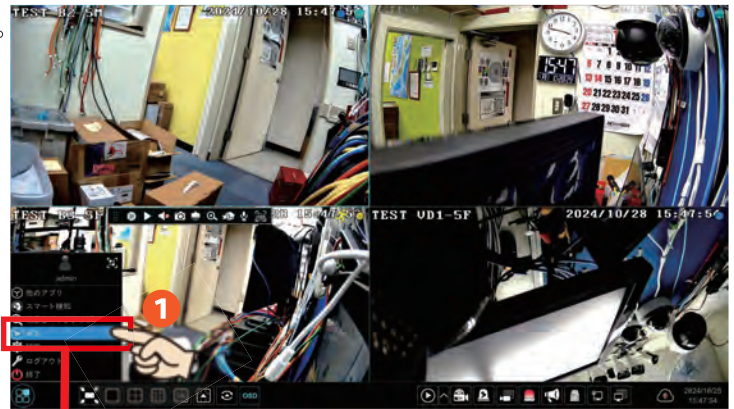


C. 通常再生（検索再生）

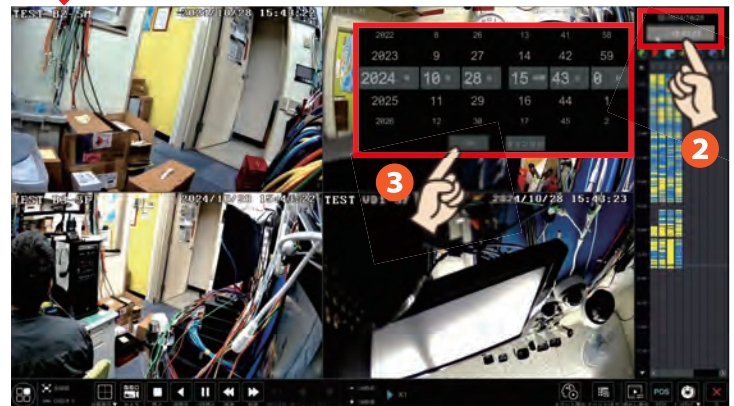
再生を開始したい**日時を指定して再生**を開始します。

×モ 再生中は全画面が再生モードに切替わる為、ライブ映像を確認する事は出来なくなりますが、録画は継続されます。またモニター出力が2つ有る機種によってはライブ映像をサブモニターに表示させたままの状態、メインモニターに再生映像を表示させる事が出来ます。

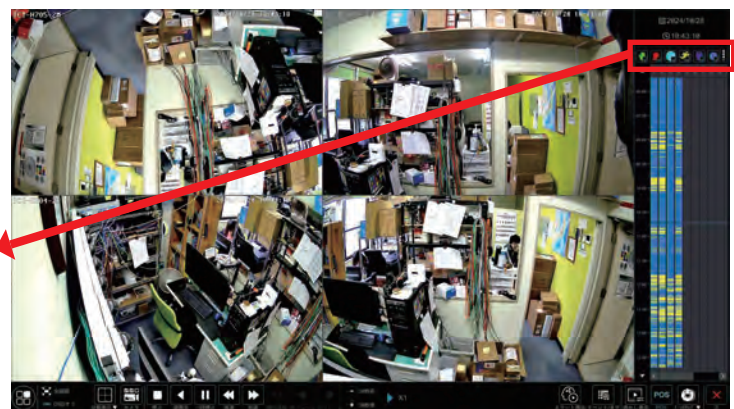
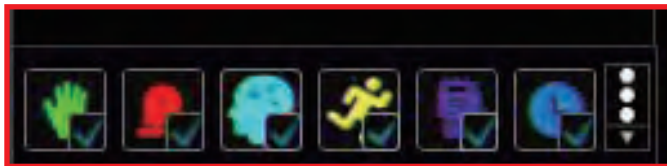
- ① **開始アイコン** > **再生** で**通常再生モード**に切替わります。



- ② 右上の日付欄を押し**再生したい日付**を指定、または時刻欄を押し**再生をしたい日付と時刻**を指定し**OK**をクリックします。



- ③ 右上の**録画パターンアイコン**のチェックにより、録画データ抽出する事ができます。デフォルトでは全て(**手動録画**、**センサー録画**、**スマート検知録画**、**動体検知録画**、**POS 録画**、**スケジュール録画**)にチェックが入っており、それらの条件で録画されたデータがタイムバーに表示されます。



常時録画のみを表示させたい場合は**常時録画 (スケジュール録画) のみにチェック**、加えてモーションを表示させたい場合は**モーション (動体検知録画) にチェック**を入れるとタイムバー上に青色のスケジュール録画と黄色の動体検知録画が表示されます。

- ① **再生は自動で開始**されます。タイムバーのタイムバーをダブルクリックする事でクリックした位置 (時間) までジャンプし再生します。
- ② タイムバー上にマウスカーソルを合わせると、サムネイル画像が表示されます。
- ③ マウスのホイールを下 (手前) に回すとタイムバーは下に移動し、前の時間帯が表示されます。ホイールを上 (奥) に回すとタイムバーは上に移動し、先の時間帯が表示されます。
- ④ タイムバーの表示縮尺を変更するには、タイムバー上にマウスを合わせると縮尺変更のアイコンが表示されます。
- 【12】 タイムバーを **12 時間表示**に変更します・・・0:00 ～ 12:00
- 【24】 タイムバーを **24 時間表示**に変更します・・・0:00 ～ 24:00
- 【+/-】 24 時間 12 時間 6 時間 3 時間 1 時間



メモ 24/12 時間表示は現在の再生位置（時間）に関わらず 24 時間表示、0:00 ～ 12:00 の 12 時間表示されますが、6 時間表示以降は現在の再生位置（時間）を中心に表示されます。



	全画面	カメラの映像のみを フルスクリーン（全画面表示） で表示します。 戻す場合はもう一度アイコンをクリック。
	OSD オン / オフ	NVR の OSD （画面上に表示される文字）の 表示 / 非表示 の切り替え。 ※カメラの OSD とは異なります。
	分割表示	分割表示 を切替えます。 ※使用している NVR のモデル（チャンネル数）により切替パターンは異なります。
	カメラ	再生するカメラ を選択します。
	停止	再生を停止 します。再生モードはそのままでも何も映らない状態になります。 再び再生を押すと続きから再生されます。
	逆再生 / 一時停止	逆再生 を開始します。逆再生中は一時停止ボタンとなります。
	再生 / 一時停止	一時停止 ボタン。
	減速 / 加速	再生・逆再生速度を変更 します。 ×1/2. ×1/4. ×1/8. ×1/16. ×1/32. ×1. ×2. ×4. ×8. ×16. ×32
	通常速度	減速・加速の状態であっても 通常速度（×1） に戻ります。
	前フレーム 次フレーム	1 画面表示で再生が一時停止中にのみ表示されます。映像の フレーム単位での送り戻し
	－ 30 秒前 ＋ 30 秒後	再生中の映像の時間を 30 秒戻し・30 秒送り します。

バックアップ

バックアップには**通常バックアップ**と**検索バックアップ**の2通りがあります。ここでは**通常バックアップ**の手順をご案内します。バックアップ先となる USB フラッシュメモリー（以降、“USB メモリー”と言う）の準備をします。

※**確認済みの USB メモリーは 512GB まで**です。

USBメモリーのフォーマット

① USB メモリーを NVR 本体でフォーマット（初期化）する場合、**管理者権限の機能**の為、事前に**管理者ユーザー名とパスワード**が必要です。

手順 USB メモリーを NVR の USB ポートに接続し **開始アイコン** > **設定** > **HDD** > **初期化** をクリックします。

注意 **HDD の初期化を押さないように十分に注意**して下さい。USB メモリーを接続しているのに表示されていない場合、USB メモリーが別の形式でフォーマットされている、故障している、中途半端に挿されている、書き込みロックまたは容量オーバーなどが考えられます。



- ② 「USB メモリー内の全てのデータが消去」されるメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。



- ③ ストレージ (HDD や USB メモリー) のフォーマット (初期化) は**管理者権限**の操作の為、管理者のユーザー ID とパスワード入力を求められます。**管理者のユーザー名とパスワードを入力し** **今すぐフォーマット** をクリックします。

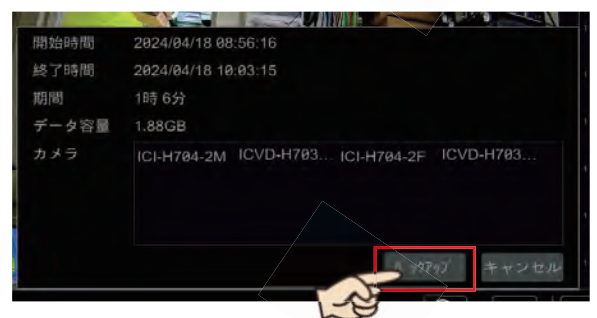


再生モードからのバックアップ

- ① **開始アイコン** > **再生** で再生モードに切り替え、**バックアップしたいシーンを日付または日時検索で表示**させます。
- ② バックアップするカメラが 1 台の場合は **1 画面表示**、4 台の場合は **4 分割表示**、8 台の場合は **9 分割表示**など、分割表示を切り替えます。
- ③ タイムバーの**表示時間幅 (間隔)**を調整し、バックアップを開始したい時間帯を左クリックしたままの状態、バックアップ終了位置まで移動し指を外し (ドラッグ & ドロップ) 色を反映させます。
- ④ タスクバーの **バックアップ** をクリックし、ポップアップされるサブメニュー から **バックアップ** をクリックします。



- ⑤ **バックアップ**の詳細が表示されるので、内容を確認し **バックアップ** をクリックします。



- ⑥ バックアップ先の選択が表示されるので、USB メモリーを選択します。USB メモリーが 1 個しか接続されていない場合、初期値の USB メモリーが表示されます。HDD は表示されません。デバイス名が何も表示されない場合、再読み込みをクリックして下さい。それでもデバイス名が表示されない場合、(USB メモリー) に何らかの問題が発生しています。USB メモリーの故障、中途半端に挿されている、書き込みロックされているなどが考えられます。再フォーマット (初期化) するか、別の USB メモリーでお試し下さい。

フォーマット形式を「AVI、MP4、個人用」から選択し「バックアップ」をクリックします。



AVI	多くのパソコンで標準的にインストールされているソフトウェアで再生が可能です。カメラ単体での再生のみに対応しており、分割表示での再生はできません。ファイルにパスワードを付ける事はできません。
MP4	再生には MP4 再生または追加プログラムがインストールされたパソコンが必要です。カメラ単体での再生のみに対応しており、分割表示での再生はできません。ファイルにパスワードを付ける事はできません。
個人用	メーカー独自の方式で、再生には必ず 専用の再生ソフト (プレイヤーソフト) が必要です。再生ソフトはバックアップ時に USB メモリーに zip 形式でダウンロードされます。複数のカメラを同時再生でき、常時録画とイベント録画を仕分ける事ができます。バックアップファイルにパスワードを付ける事ができます。

以下の条件での USB メモリーへの**バックアップ所要時間**は

【条件】 解像度：2.0MP フレームレート：30fps 画像圧縮：H.264 ビットレート：2048Kbps USB ポート：3.0

カメラ設置場所：室内 チャンネル (カメラ) 台数：1 台 バックアップ時間：1 時間の場合、実測で

AVI の場合 約 4 分前後、MP4 の場合 約 7 分前後、個人用の場合 約 3 分前後となります。

但し被写体条件によってバックアップ時間は大きく前後します。あくまでも**目安の時間**です。

※USB 3.0 は INT-HD7708-8P 以上の機種にのみ 1 ポート搭載されています。INT-HD7704-4P は USB 2.0 が 2 ポートのみで **USB 3.0 は非対応**です。

※USB 3.0 対応のモデルでも **USB 3.1 以上は非対応**です。

※USB 3.0 ポートに USB 2.0 仕様の USB メモリーを接続しても、USB 3.0 ポートに USB 2.0 仕様の USB メモリーを接続してもバックアップ自体は可能ですが、USB 2.0 の速度となります。**USB ポートの仕様に適合した USB メモリーをご利用**下さい。

※USB 1.0 には全モデル対応していますが、転送速度がかなり低い仕様の為、バックアップの所要時間がかかります。

リモート接続

遠隔地からスマホやタブレット、パソコンなどを用い NVR へリモート接続 (遠隔監視) を行うには、NVR が確実に正しくインターネット回線に接続され、通信が行われている事が**絶対条件**となります。

NVR側の設定と確認事項

リモート接続にはいくつか種類があり、ここでは最も簡単な NAT (ナット) 接続 (旧 P2P) を解説します。

リモート接続を行うには NVR 側の準備と確認が必要となります。初期出荷の状態では情報流出などの点から NVR をインターネットに接続するだけでは、外に情報が出ない設定になっています。

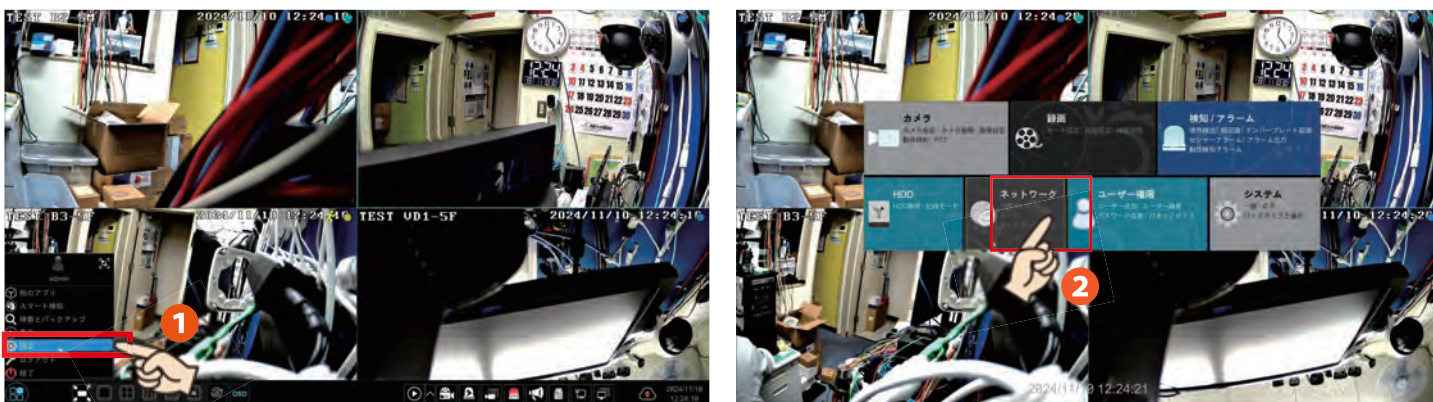
メモ リモート接続では、**ユーザー名とパスワード**が必要です。事前にご準備下さい。

注意 一般的にインターネットを介してのリモート接続では、送信側 (NVR を設置している所。リモート接続される側) と受信側 (PC やスマホやタブレットなど、リモート接続する側) のネットワークデバイス (HUB やルーターなどのネットワーク機器) のスペック、プロバイダーとの契約状況、回線コンディション、パソコンや端末のスペック、インターネット網に存在するサーバーのトラブルなどにより接続できなかったり、途中で強制的に切断されたり、通信速度が低下したりする事を事前にご理解下さい。インターネットは世界中の人が使う事の出来る通信網の為、予想外のトラブルや不具合が発生したり、中には不正アクセスやハッキング、ウイルスなどをまき散らす者もいます。

NVR側のNAT接続の準備

無償で誰でも使用でき、ルーターの設定も無く、ネットワーク知識も必要無い、最も簡単な接続方法です。ただし簡単な分、第三者からの不正アクセスに弱い為、NVRのパスワード管理が重要となります。また世界中で利用されているネットワークで、持ち主 管理者 責任者 所在地などが公開されていないネットワークを利用する為、遅延が発生したり、接続に時間がかかったり、接続サーバーがダウン（停止）する事もあり、その性質上、トラブルが発生した場合でも、原因の追求や責任の所在を明らかにする事は不可能で、弊社からサーバーを操作する事もできず、ひたすら自然に復旧するのを待つしか無いのが現状です。世界中に存在するサーバーを使用している為、今後の社会情勢や政治の問題で一部の国でインターネットの利用に関して制限や使用を拒否された場合、新しいルータが構築されるまで、通信が接続できなくなる可能性があります。

① **Start (開始)** > **設定** > **ネットワーク** > **NAT** をクリックします。



② **NAT の有効**にチェックを入れ**適用**をクリックします。

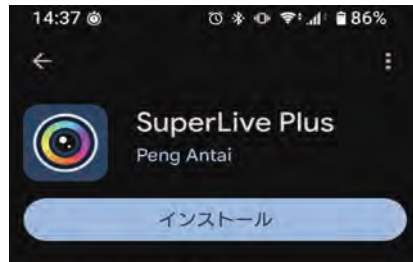


- ③ 1分ほどすると **NAT 状態** が**成功**と表示されます。表示されないまたはエラーが表示される場合は、上の**アクセスタイプ**を変更し再び**適用**をクリックしお待ち下さい。それでも成功が表示されない場合、NVR がインターネットに正しく接続されていない、NVR 以外のネットワークトラブル、またはフィルタリング設定やファイヤーウォールなどの既存回線や設備、セキュリティ設定、海外からの特定の通信をブロックされている可能性が有ります。ルーターの設定を確認したり、別にネットワークシステムを構築された方や業者がございましたら、一旦そちらへもご相談下さい。弊社でもできる限りのサポートやご協力はさせていただきますが、セキュリティ関連となりますと保安上、手が出せない部分もございます。
- ④ 画面上に表示されている **QRコード**、またはその下に表示されている **12桁の英数字**が必要となりますので**記録または写真撮影**するか、後ほどスマホ / タブレット端末のカメラでQRコードを撮影しますので、**画面を開いたままの状態**で次へお進み下さい。
- 以上で NVR 側の設定と確認は終了となります。



アプリ「SuperLive Plus」の入手

iOS 端末では (iPhone/iPad) は Apple Store、Android 端末では Google Play から専用 App 「**SuperLive Plus (スーパーライブプラス)**」(以降、“アプリ”または“App”と言う) を検索しダウンロードとインストールを行って下さい。

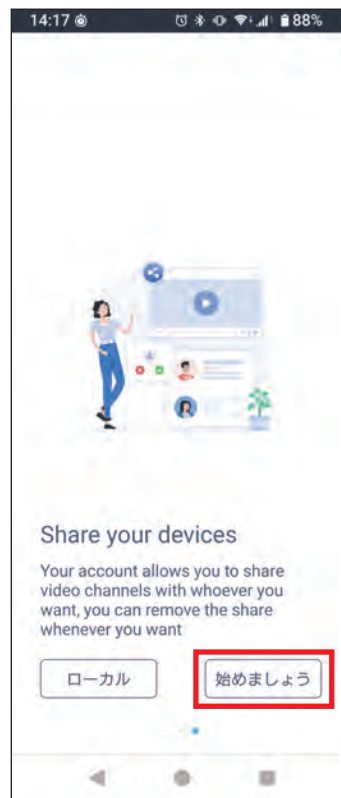
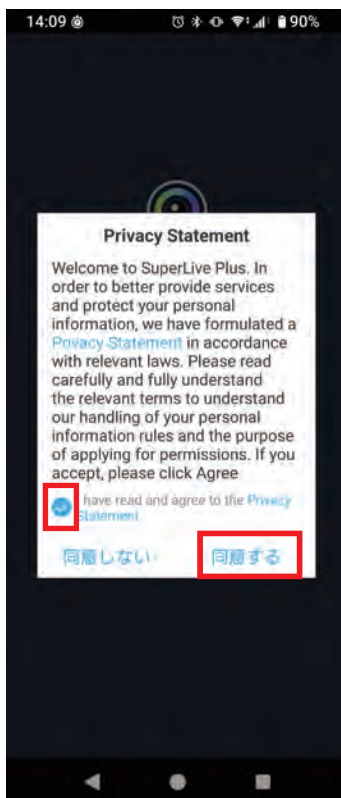


Android 版と iOS 版では機能は同じですが表示される文言が異なります。ここでは Android 版で説明を進めます

アプリ「SuperLive Plus」へデバイス登録

- ① アプリを起動します。初回及びアップデート後は Privacy Statement (プライバシーステートメント) が英文で表示されます。下部のチェック項目に**チェックを入れ「同意する」**をタップします。
- ② 続けて紹介のアニメーションが流れますので、右上の**スキップ**をタップし「ローカル」と「始めましょう」のボタンが表示されるので、右側の**「始めましょう」**をタップします。

アプリの設定 (ローカル)



注意 ご利用のキャリアや iOS/Android バージョン、端末 (機種) によって様々な同意を求められます。必要に応じて「同意する」、「同意しない」を選択し次にお進み下さい。またこの同意はアプリまたは端末から後で変更する事も出来ますし、アプリや OS のバージョンアップ後や同意の内容によっては不定期に再度求められる場合もございます。

- ③ 「始めましょう」から開始した場合、デバイス (NVR や IP カメラ) を登録する項目が表示されます。右上の**「スキップ」**をタップすると通常のライブモードに切り替わります。デバイス登録の手順は同じなので、通常のライブモードからのデバイス登録手順で進めます。
- ④ 左上の**①メニューアイコン**をタップし、**②サーバーリスト**をタップ。続けて右上の**③** をタップし、手元に NVR の QR コードが有る場合は**④スキャン**をタップし、端末のカメラで QR コードを撮影して下さい。QR コードが無い場合は**手動で追加**をタップして下さい。



⑤ カメラで QR コードを撮影すると、**デバイス番号は自動で入力**されます。手動で追加の場合は 10 ページで記録した**12 桁の英数字を入力**して下さい。続けてデバイス名（自由入力。半角 24、全角 8 文字以内）、NVR のユーザー名、パスワードを入力し**保存**をタップします。

メモ 保存ボタンはキーボード表示中は裏に隠れ表示されません。Enterキーをパスワード入力まで押し進めるとキーボードが消え保存ボタンが表れます。

⑥ 登録が正常に完了すると、右側の**⑤アンテナアイコン**がグリーンに変化します。



	登録状況 グリーンは接続OK
	編集 登録情報の編集。デバイス番号の変更やコピーは出来ません
	ライブ
	デバイス削除
	デバイス情報
	QRコード表示 他の端末に同じ端末を登録する際に使用

アプリ「SuperLive Plus」ライブ

-  サーバリストから、**ライブアイコン**をタップすると、そのデバイスに接続され、ライブ映像が表示されます。
初期値では**最大9分割**。チャンネル（カメラ）をダブルタップする事で1画面化し、再びダブルタップで元の分割表示に戻ります。



	デバイスを選択 DVR やカメラを選択します。
	カメラ名称表示とカメラ番号表示の切り替え
	9チャンネル（9台以上）のページに切替
	全チャンネル（カメラ）を閉じる
	カメラ番号／カメラリスト 現在選択（表示）されているチャンネル（カメラ）番号または名称が青色で表示されます。番号と名称の切替は「番号とリスト表示切替ボタン」で切り替わります。 ※ここをタップしてもチャンネルは変わりません



	マイク ON/OFF 選択されているチャンネル（カメラ）がオーディオ対応のカメラでスピーカーが接続されている場合、こちらの音声を流す事が出来ます。
	スピーカー ON/OFF 選択されているチャンネル（カメラ）がオーディオ対応でマイクが内蔵または接続されている場合、マイクの音声を聞く事が出来ます。
	分割表示パターンの切替 最大16分割まで表示は可能ですが、 但し9分割を超えるとアプリのパフォーマンスが低下する警告メッセージが表示されます。
	再生モード切替
	その他の機能 通知のON/OFF、お気に入り追加、手動アラーム、車両検索（非対応）、イベントから探す

アプリ「SuperLive Plus」再生

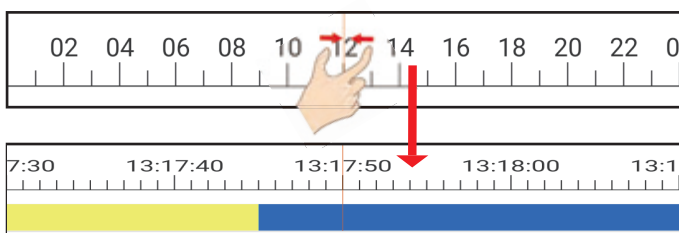
サーバーリストから目的のデバイス（NVR / カメラ）を呼び出しライブモードを開きます。再生したいチャンネル（カメラ映像）をタップし**青枠**を付けるか、1画面にし再生アイコンをタップし再生モードに切り替えます。**保存されている当日の最も古い映像**、例えば11月12日の17時30分に再生を開始（再生アイコンをタップ）すると、その日（11月12日）の保存されている最も古い映像（午前0時）から**自動で再生が開始**されます。



アプリ「SuperLive Plus」再生コントロール

【タイムバーの縮尺の変更】

タイムバー上でピンチイン／ピンチアウトを行うと表示されているタイムバーの**縮尺を変更**する事が出来ます。最小2時間単位（デフォルト）、最大10秒単位



【再生日の変更】

日付はデフォルトで**日曜日**から**1週間分が表示**されます。日付を左右にドラッグすると、別の週に変更します。日付をタップし、別のチャンネル（カメラ）に変更します。再生中の日は日付が青く変化し、当日（今日）は日付の下に小さな青い点が表示されます。



【再生中】



【一時停止中】



▶▶	再生一時停止中のコマ送り ※再生中は使用できません。
◀◀	逆再生※1 ※逆再生速度を指定する事は出来ません。
▶▶	早送り再生※1 ※再生速度を x1, x4, x8, x16 から選択できます。
▶	再生／一時停止
◀▶	チャンネル（カメラ）切替（ch 戻し／ch 送り）
✕	チャンネル（カメラ）を閉じる※2

※1 逆再生及び早送り再生では、滑らかな再生では無く、コマ飛び再生となります。

※2 チャンネル（カメラ）映像のみが閉じられ、再生モードは閉じられません。再びそのまま再表示は出来ません。再表示の際にはライブモードからの手順となります。

【機能パネル】



再生中／一時停止中、操作パネルとタイムスケール、日付等を消し、チャンネル（カメラ）番号のみを表示させます。チャンネル（カメラ）番号をタップする事でチャンネル（カメラ）を切り替える事が出来ます。



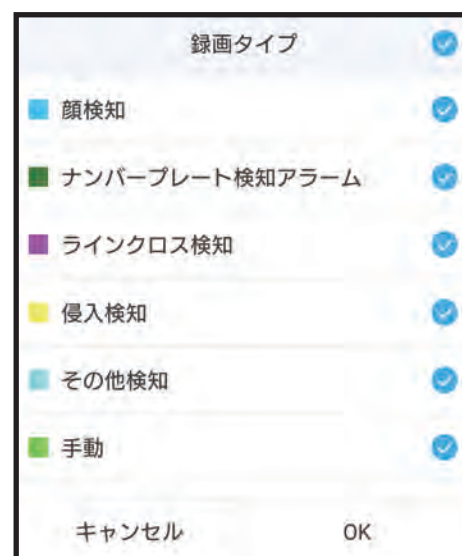
スピーカー ON/OFF 選択されているチャンネル（カメラ）がオーディオ対応でマイクが内蔵、または接続されオーディオ（音声）録音が有効になっている場合、録音された音声を端末のスピーカーから流す事が出来ます。オーディオ非対応のカメラの場合でもアイコンは表示されタップする事も可能ですが、音声は流れません。



分割表示パターンの切替 最大 16 分割まで表示は可能ですが、**但し 9 分割を超えるとアプリのパフォーマンスが低下する警告メッセージが表示されます。**



録画タイプ設定 顔検知、ナンバープレート検知アラーム、ラインクロス検知、侵入検知、その他検知、手動、センサー、モーション、POS、スケジュールを選択し録画タイムバーの表示を選択する事が出来ます。デフォルトでは全てが選択されていますが、実際に機能や検知が有効になっていない物は表示されません。デフォルトの録画設定は常時録画（手動）と動体検知通常（モーション録画）が有効になっている為、最低でも常時録画（手動）と動体検知通常（モーション録画）は表示されます。



カレンダー／時間検索 表示されるカレンダーから日付と時間を設定し検索する事が出来ます。

ライブ中（1 画面／分割）及び再生中（1 画面／分割）に画面（画像）をタップすると、画面の右側に**操作アイコン**が表示されます。



ライブ及び再生の 1 画面表示で、**解像度を変更**

ライブ 1 画面表示で、カメラの**画像映像の詳細設定**

色	画質	明度、色相、彩度、コントラスト
カラーバランス	ホワイトバランス	自動、屋内、屋外 (アウトドア)、 手動 = 赤ゲイン、青ゲイン
映像調整	シャープネス	
	ノイズリダクション	
	逆光補正	
画像調整	画像鏡像 = 左右反転	
	画像フリップ = 上下反転	
Infrared Light 赤外線	赤外線モード = オン(開く)、オフ、自動	
	Smart IR = オン(開く)、オフ	
レンズ調整	ズーム ※Mモデルのみ	

【ライブ 1 画面表示及び分割表示】 Alarm 対応カメラの**手動アラーム ON/OFF**

【全モードで表示】 **全画面表示**。端末によっては横向き表示に切り替わります。

【全モードで表示】 1 画面または分割表示では選択されたチャンネル (カメラ) の**スナップショット (静止画)**を撮影します。撮影された静止画ファイルは、アプリ内のファイルに保存されます。

【全モードで表示】 1 画面または分割表示では選択されたチャンネル (カメラ) の**動画録画**を開始します。録画された動画ファイルは、アプリ内のファイルに保存されます。録画中はアイコンが赤に変化します。録画を停止する際は、もう一度同じ場所にあるアイコンをクリックします。

【再生の 1 画面で表示】 **バックアップ**アイコンです。画面上のタイムバーをピンチイン／ピンチアウトでダウンロード範囲を指定し、アプリ内のファイルに保存されます。

アプリ「SuperLive Plus」からのファイルのダウンロード

バックアップ、動画、スナップショット（静止画）は**アプリ内のファイルに保存**されており、この段階ではまだ端末には保存されていません。以下の手順で**アプリから端末へコピー**します。

注意 端末に移動してもアプリ内のファイルには残ります。ファイル内のデータを削除しないと端末のストレージが一杯になります。定期的にアプリのファイルを削除して下さい。

手順 ライブモードで左上の ①**メニューアイコン**をタップし②**ファイル**をタップします。アプリ内に保存されたスナップショット（静止画）や動画、バックアップされたファイルの③**サムネイル**が表示されるので、バックアップ（端末に保存したい）ファイルをタップし**1画面表示**にし、最後に④**共有アイコン**をタップします。



PCソフト「NVMS 2.0」のインストール

NVMS 2.0 は **Windows 64bit PC 専用ソフトウェア** (以降、“ソフト” という) です。Windows 32bit 及び macOS は**非対応**です。ご了承下さい。**ソフトインストールする前には PC 上で動いているソフトを全て閉じて下さい。**

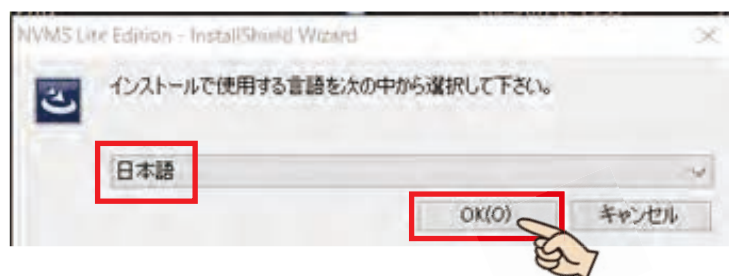
ソフト (NVMS 2.0) は製品付属の CD-ROM 内に収録されています。ファイルサイズが大きい為、本製品の国内輸入卸事業社である「有限会社インターラック」の**ホームページからはダウンロードは出来ません**。ソフトが必要な場合は本製品をお求め頂いた販売店へお問い合わせ下さい。

メモ 付属の CD-ROM に収録されている「**IPTool_x.x.x.x_xxxxxxxx**」は、INT シリーズ NVR 及び H700 シリーズ IP カメラ専用の**ユーティリティソフト**となります。INT シリーズ NVR 及び H700 シリーズ IP カメラに IP 情報 (IP アドレス等) の登録のみに使用するソフトウェアです。

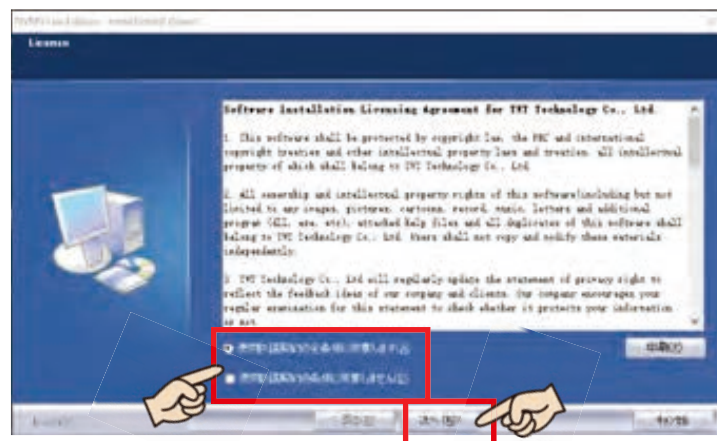
【注意】

Windows PC 用クライアントソフト「NVMS 2.0」は、お使いの PC を NVR 化しサーバーとして運用する為のソフトウェアとなります。その為、単純にライブ・再生・バックアップだけの機能ではなく、サーバー機能を持っています。その為、他の VMS/CMS ソフトに比べ機能が多く含まれており、使用方法が難しくなります。PC 内デバイス (HDD、SSD、USB メモリーなど) を使用する為、専用的高スペック PC のご利用をお勧めします。またプログラム容量が約 400MB ほどある為、Web ブラウザからのダウンロードではなく、製品付属の CD-ROM からのインストールをお勧めします。

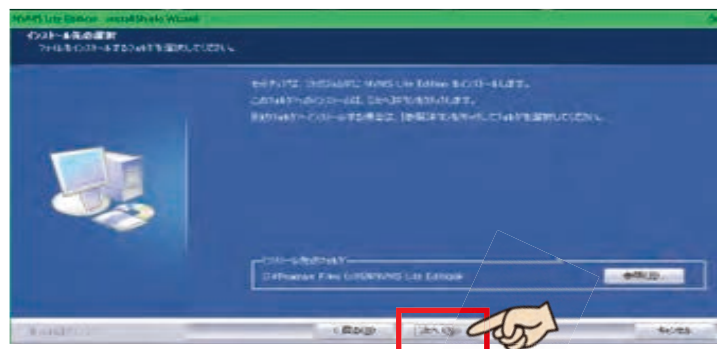
- ① 本製品付属の CD-ROM から「**NVMS Lite x64 Ver ?**」をお使いの PC にインストールします。「？」はソフトバージョン番号を表します。言語に**日本語**が選択されている事を確認し **OK** をクリックします。
通常は Windows で使用されている言語が表示されます。



- ② 「利用許諾契約の全条項に同意」し、チェックを入れ
次へ をクリックします。

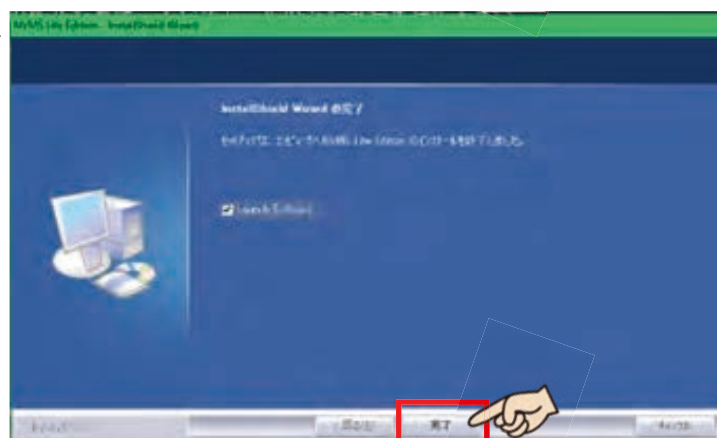


- ③ インストール先のフォルダーを指定します。通常はそのまま **次へ** をクリックして下さい。変更が必要な場合のみ変更して下さい。



- ④ インストール完了までには、PC のスペックにもよりますが、時間が数分かかります。可能な限り PC での他の作業を避け、インストールのみを実行させて下さい。

- ⑤ インストール完了のメッセージが表示されるので **完了** をクリックします。

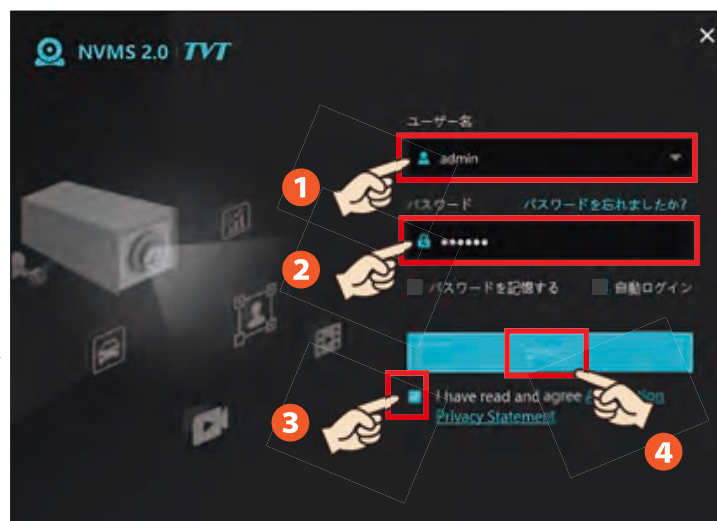


PCソフト「NVMS 2.0」の起動とログイン

- ① デスクトップ上、または Windows のスタートメニューから **NVMS Lite Edition** フォルダ内の **MonitorClient** をクリックし起動します。

- ② ユーザー名とパスワード入力を求められますので、ソフトの管理者名 **admin** と初期パスワード **123456** を入力し、**I have read and agree Application Privacy Statement** (ソフトのプライバシーに関する同意) にチェックを入れ **ログイン** をクリックします。

メモ **ログイン** をクリックした段階で、ソフトのプライバシーに同意したとみなされます。ソフトのプライバシー規約の内容は「**Application Privacy Statement**」をクリックすると表示されます。
 ※まだこの段階では「パスワードを記憶する」と「**起動ログイン**」にチェックを入れなくても大丈夫です



- ③ 初回ログイン時のみ、「Quick Configuration Wizard (クイック設定ウィザード)」が表示されます。初めにパスワード変更を求められます。**ソフトにログインする為のパスワードと確認の為に同じパスワードを入力し** **Next** をクリックします。

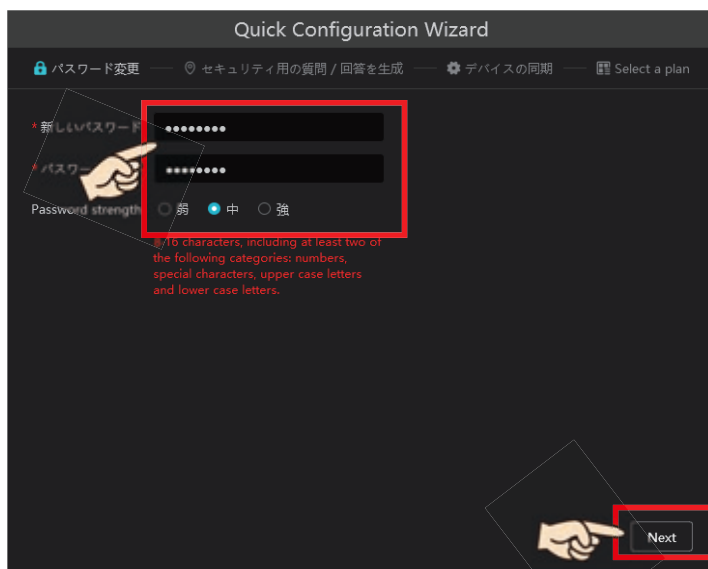
パスワードの難易度に合わせ Password strength で「弱・中・高」を選択できます。それぞれ**パスワード条件**が以下のように異なります。

「強」 数字、記号、英大文字、英小文字を含む 8 ～ 16 文字以内

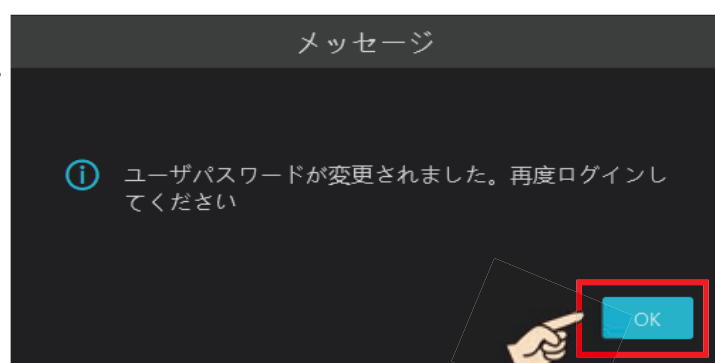
「中」 数字、記号、英大文字、英小文字のいずれか 2 つを含む 8 ～ 16 文字以内

「弱」 制限なし

※空欄は設定できません。必ず 1 文字以上で登録して下さい



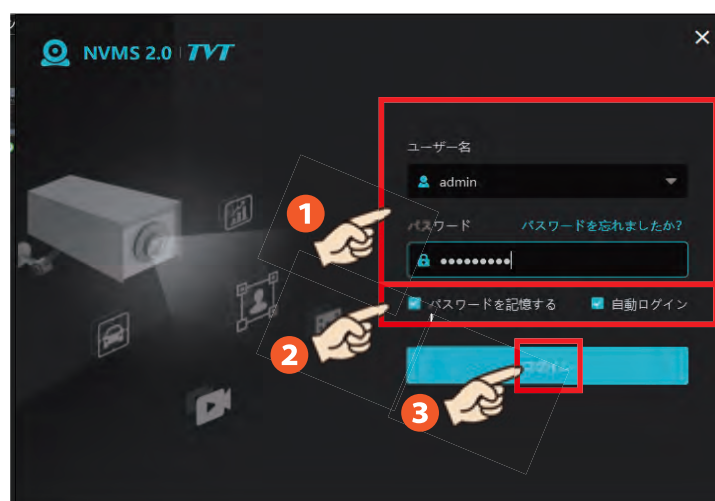
- ④ パスワードが変更された旨のメッセージが表示され、再ログインを求められますので **OK** をクリックします。



- ⑤ ログインウィンドが表示されますので、先ほど作成したパスワードを入力し **ログイン** をクリックします。

メモ 必要に応じて、「パスワードを記憶する」と「自動ログイン」にチェックを入れる事で、次回以降ユーザー名とパスワードの入力が**省略**され起動します。

※パソコンやソフトを不特定多数の方が使用される場合は、パスワードの記憶と自動ログインは使用しない事をお勧めします

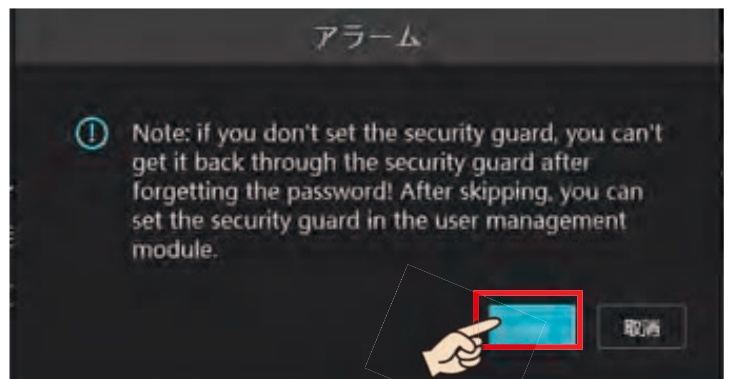


注意 パスワードを 5 回連続で間違えた場合、10 分間ロックがかかります。10 分経過後、パスワード入力は可能となりますが、5 回間違えると再び 10 分間ロックされ使用する事は出来なくなります。ロック中、強制的にログインする事は出来ません。プログラムの再インストールを実施してもパスワード入力を回避する事は出来ません。製造メーカーのサポートを受けなければいけない為、数日お時間を頂く事となります。パスワードの管理には十分にご注意下さい。

- ⑥ パスワードを忘れた際の自己解決として、質問とその回答を設定する事ができます。このメッセージは登録が完了するまで、ソフトの起動の度に表示されますので、「No more tips for security questions」にチェックを入れ、必要無い場合は **スキップ** を。必要な場合は項目を入力し **Next** をクリックして、次に進んで下さい。

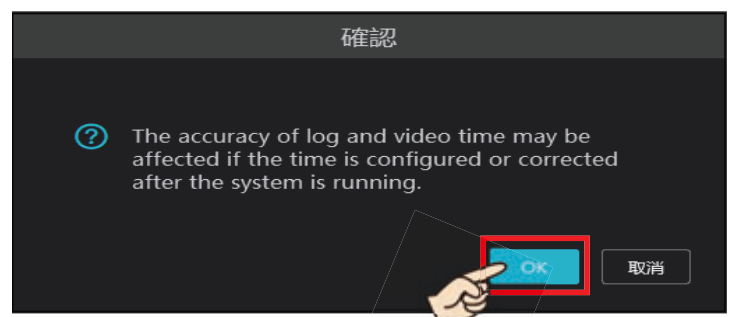
The screenshot shows the 'Quick Configuration Wizard' interface. At the top, there are three tabs: 'セキュリティ用の質問 / 回答を生成' (selected), 'デバイスの同期', and 'Select a plan'. Below the tabs, there are three sets of '質問:' (Question) and '回答:' (Answer) input fields. A red box labeled '1' highlights these input fields. At the bottom, there is a checkbox labeled 'No more tips for security questions' with a red box labeled '2' around it. To the right of the checkbox, there is a 'Next' button with a red box labeled '3' and a hand icon pointing to it, and a 'スキップ' (Skip) button.

- ⑦ 全項目で問いと回答をスキップ（登録しなかった）すると **パスワードを忘れた場合は復旧できない** 旨の英文メッセージが表示されるので、確認したら **OK** をクリックします。

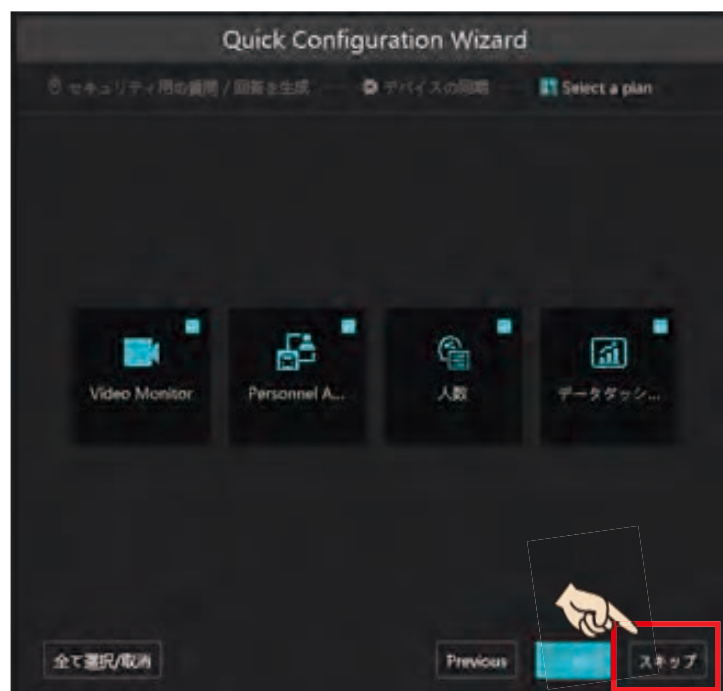


- ⑧ デバイスの同期設定が開きますので、**スキップ** をクリックします。注意事項に関する英文メッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。

The screenshot shows the 'Quick Configuration Wizard' interface. At the top, there are three tabs: 'セキュリティ用の質問 / 回答を生成', 'デバイスの同期' (selected), and 'Select a plan'. Below the tabs, there is a section titled 'Time Settings' with a checkbox labeled 'デバイスの同期' (Device Synchronization) and a question mark icon. At the bottom, there are 'Previous', 'Next', and 'スキップ' (Skip) buttons. A red box labeled '1' highlights the 'スキップ' button, and a hand icon is pointing to it.



⑨ プラン設定が開きますので **スキップ** をクリックします。



⑩ 現在、ご利用中の PC に接続されている全てのストレージ (HDD や SSD や USB メモリーなど) の選択が表示されます。これはお使いの PC 内のストレージを使った PC ベースサーバーの NVR を構築する為の設定項目です。
何も選択せず **取消** をクリックして下さい。



メモ PC ベースでの NVR サポートは現在行っておりません。**このメッセージはソフトを起動する度に表示**されます。

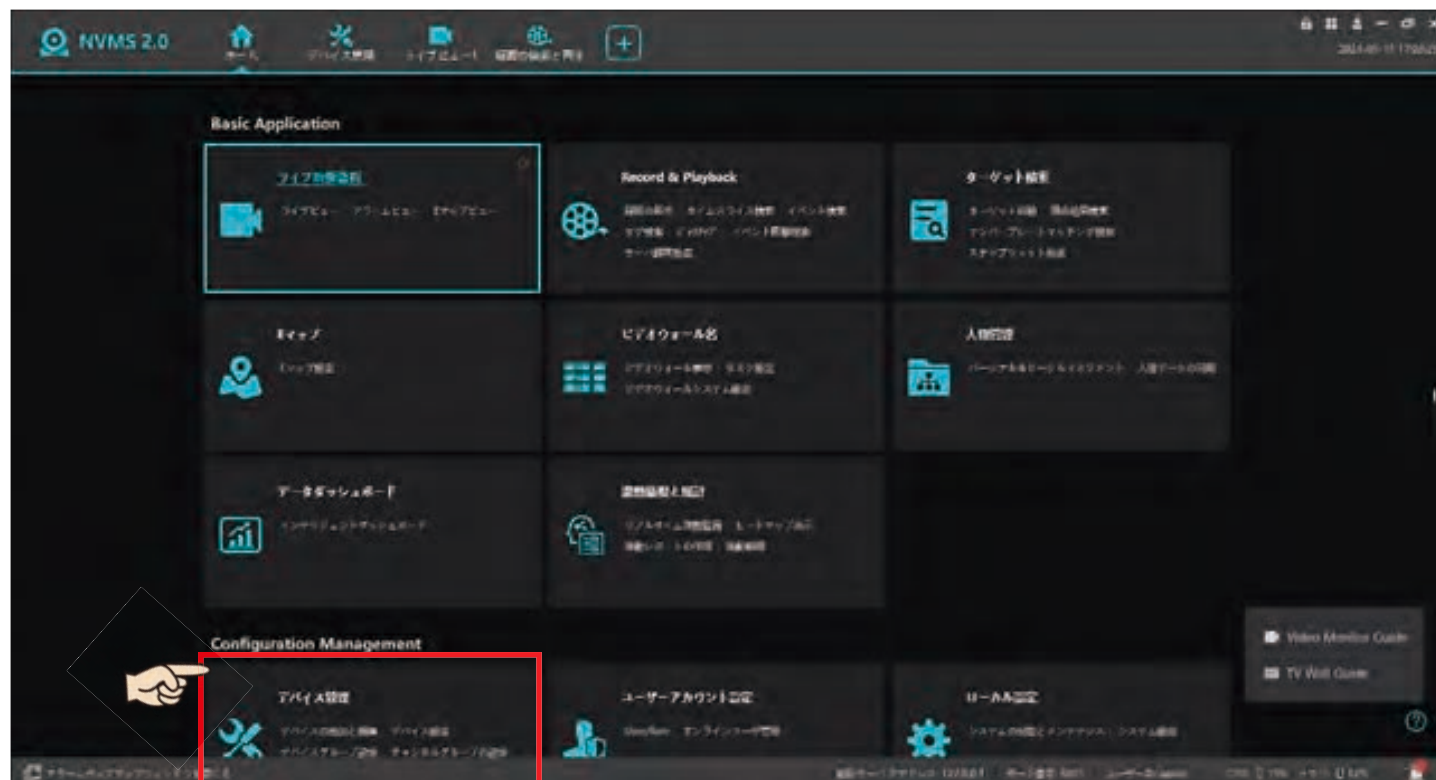
⑪ ホームウィンドが表示されます。



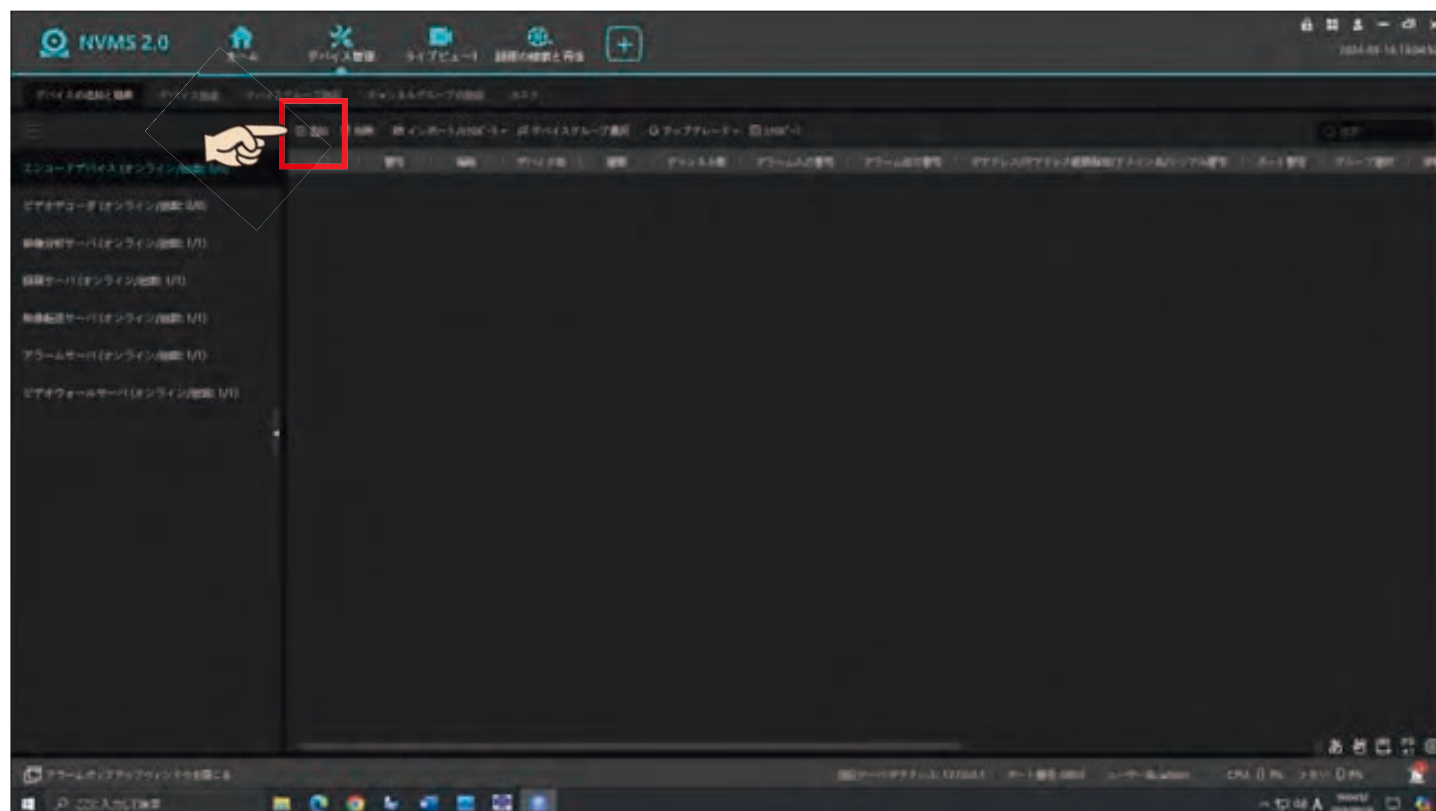
PCソフト「NVMS 2.0」へのデバイス登録

デバイス（NVR やカメラ）をソフトへ登録します。登録方法として前項の「**NVR 側の準備**」で記録した内容を使います。

- ① ホームウィンドの **デバイス管理** をクリックします。すでにメニュータグに表示されている場合があります。



- ② デバイス管理ウィンドの **追加** を押します。



③ 同一ネットワーク内に接続されている NVR やカメラを**自動的にスキャン**しリストアップします。登録したい NVR やカメラにチェックを入れ **OK** をクリックします。

注意 ここで検索されるデバイス (NVR やカメラ) は、**同一ネットワーク内に接続されているもののみ**です。Onvif 非対応のカメラや別の場所に設置している NVR やカメラをインターネット経由で検索する事は出来ません。

検索によって**接続されているデバイスが必ず全て表示されるとは限りません**。検索ボタンを押した瞬間の結果が表示される為、何回か再読み込みを行って下さい。



④ スキャンでヒットしない、または遠隔地の NVR を登録する場合、**手動追加** を押します。**IP アドレス :0.0.0.0** と書かれている箇所をクリックします。

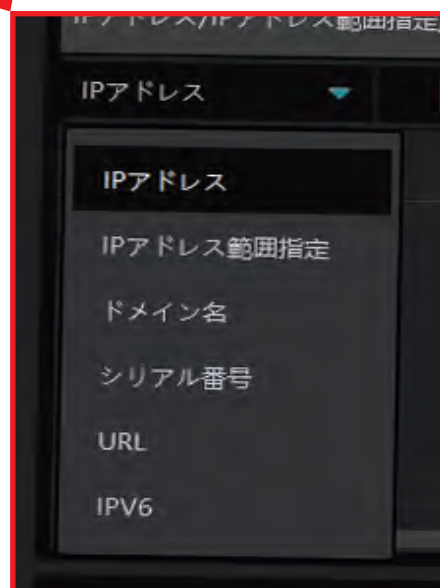




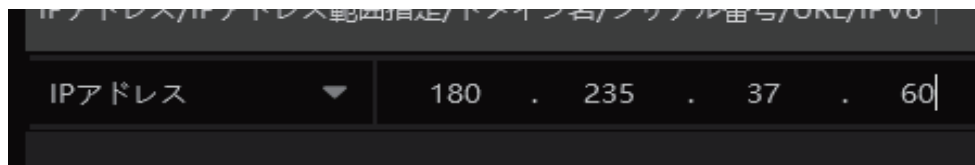
⑤ **IP アドレス :0.0.0.0** と書かれた箇所をクリックすると、登録手段として次のようなプルダウンメニューが表示されます。



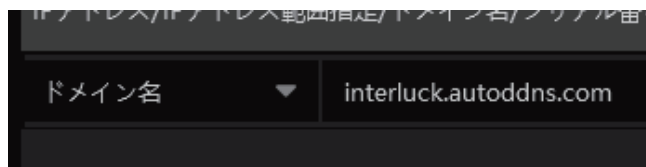
- **IP アドレス**：ローカル／グローバル IP アドレスで登録する際に選択します。以下⑥参照
- IP アドレス範囲指定：省略
- **ドメイン名**：DDNS で登録する際に選択します。
- **シリアル番号**：NET (P2P) で登録する際に選択します。以下⑧参照
- URL：省略
- IPV6：省略



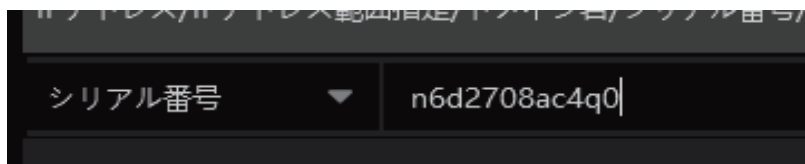
⑥ ローカル IP アドレス／グローバル IP アドレス、固定 IP アドレスの NVR やカメラを登録する場合は、**IP アドレス**を選択し、NVR またはカメラ の IP アドレスを入力します。



⑦ DDNS で登録する場合、**ドメイン名**を選択し、**DDNS アドレスを入力**し⑨に進んで下さい。



⑧ NET (P2P) で登録する場合、**シリアル番号**を選択し、p10 のリモート接続の「NVR 側の NAT 接続の準備」で記録した **12 桁の英数字を入力**し⑨に進んで下さい。



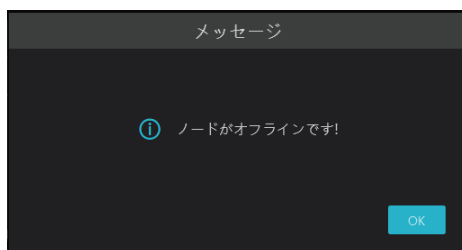
- ⑨ **IP アドレス**（ローカル／グローバル IP アドレス）、**ドメイン**（DDNS）、シリアル番号（NET）を入力後、レコーダーに割り当てられた**ポート番号を入力**します。INT-HD7700 シリーズ NVR の TCP/IP ポート番号を変更していない場合、デフォルトポート番号は **6036**、H700 シリーズ IP カメラのデフォルト TCP/IP ポート番号は **9008** 番です。再入力の必要はありません。また**シリアル番号（NAT）**で登録する場合、**ポート番号の登録が不要**です。

メモ HTTP ポート番号ではありません。ご注意ください。

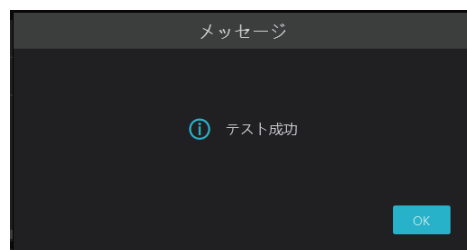
- ⑩ **NVR のパスワードを入力**し接続テスト欄のアイコンをクリックして下さい。テスト中のメッセージに続き「**ノードがオフラインです**」や「**パスワードが間違えている（英文）**」などのメッセージが表示された場合、NVR やカメラ側の接続状況、NVR やカメラ側の設定、ルーターの設定、登録アドレス、パスワード、ポート番号などを再確認及び再設定を行って下さい。**テスト成功**とメッセージが表示されたら **OK** をクリックしメッセージを消し、再び **OK** をクリックしウィンドを閉じ、デバイス管理ウィンドに戻ります。



【パスワード間違えている】



【IP アドレス、ポート番号を間違えている】



【接続テストが成功した場合】

- ⑪ 登録が完了した NVR またはカメラがしばらくすると表示されます。デバイス名などの詳細を変更したい場合、目的のデバイスの編集欄にある鉛筆型のアイコンをクリックし、デバイス個別の設定を行う事ができます。

変更エンコードデバイス

オートリポート追加 ☐

デバイス名 180.235.37.63

デバイス番号

グループ選択 標準グループ

映像転送サーバ選択 映像転送サーバ

録画サーバ選択 録画サーバ

デバイスアドレス IPアドレス 180 . 235 . 37 . 60

プロトコル 標準IPC/NVR/DVR

ポート番号 7003

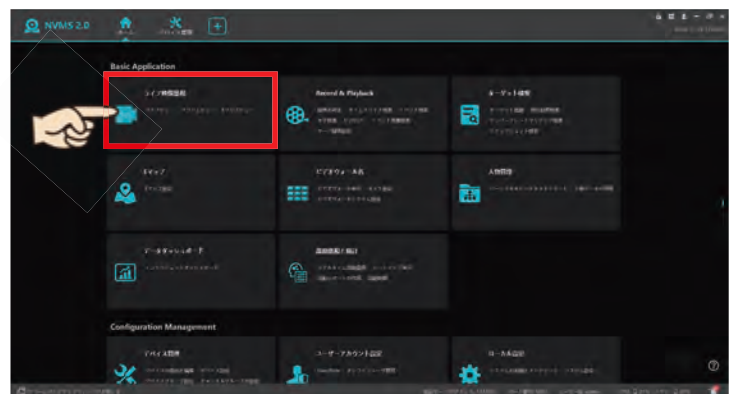
ユーザー名 admin

パスワード

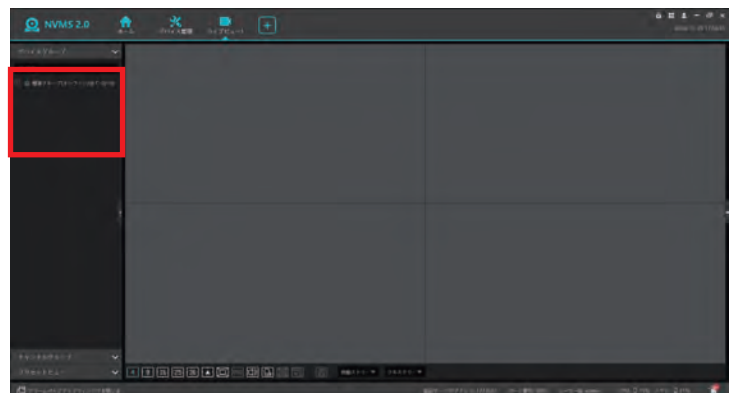
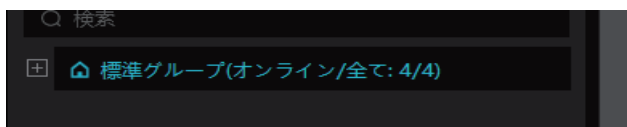
OK 取消

PCソフト「NVMS 2.0」ライブ

- ① ホームウィンドに戻り **ライブ映像監視** または **ライブビュー** をクリックし、ライブビューウィンドに切り替えます。



- ② 左側に登録済みのデバイスが表示されます。
デバイス名「標準グループ (オンライン 4/4)」の
“4/4” は、4チャンネルのNVRに4台のIPカメラが接続
され、“オンライン” はネットに接続され、リモート接続
可能な状態を表します。



デバイス名を右クリックし「デバイスグループ名の変更」を選択する事で、現在の“標準グループ名”を変更する事ができます。



デバイスグループ名の変更

現在の名前 標準グループ

新しい名前 標準グループ

OK 取消

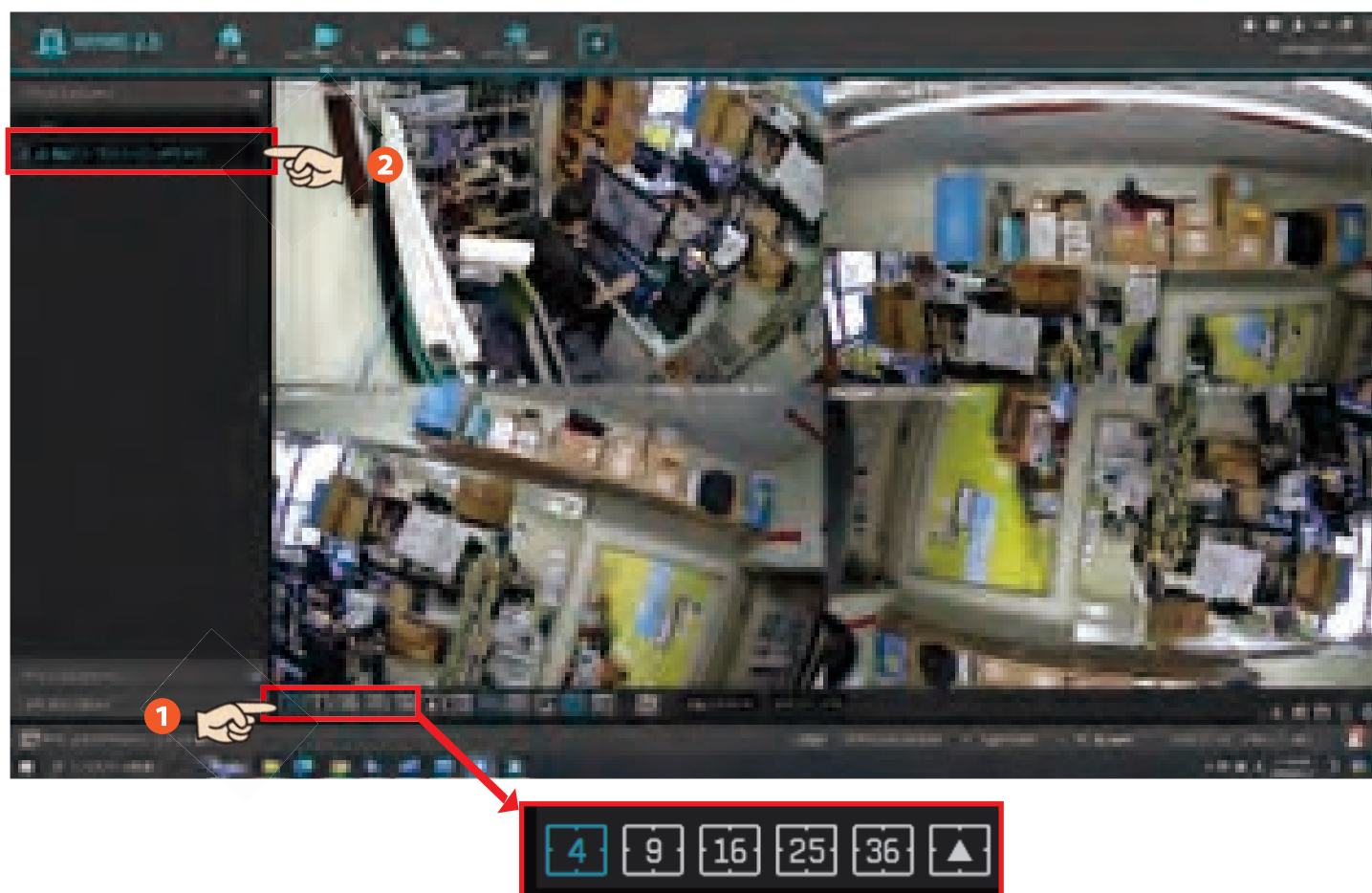
③ ライブ映像の表示方法には、**目的に応じていくつか手段**があります。

注意 ソフトを起動すると**前回閉じたページが表示**されます。デバイス管理の画面の状態ですソフトを閉じた場合、次回起動時もデバイス管理が開きます。同じようにライブ映像監視の状態ですソフトを閉じた場合、次回もライブ映像監視が開きます。またオンライン（映像が映し出されたまま）の状態です終了した場合、次回は自動的に接続されライブ映像監視が開き再接続し映像が映し出されます。但し相手先（レコーダー側）がオンライン中の（インターネットに接続され、リモート接続される状態）場合に限りです。

まず他のクライアント（遠隔）ソフトと本ソフトの大きな違いとして、NVR をデバイス登録した場合、本ソフトは**“NVR に接続されたカメラ”**として登録され、NVR を選択すると**デバイス登録された全ての NVR に接続されたカメラを映し出します**。NVR 単位で接続したい場合、デバイス登録の際に**デバイス管理グループを先に登録し、続けて NVR をデバイス登録**します。

メモ この簡易マニュアルではグループ登録の手順は説明しておりません。

画面左側のデバイスをダブルクリックすると**デフォルトの 4 分割の場合、4 台のカメラ映像が表示**されます。ここで分割表示を変更しても 4 台以上の映像は表示されません。4 台以上のカメラを表示させたい場合、**先に分割表示を 4 分割以上に切替えてデバイスをダブルクリック**します。

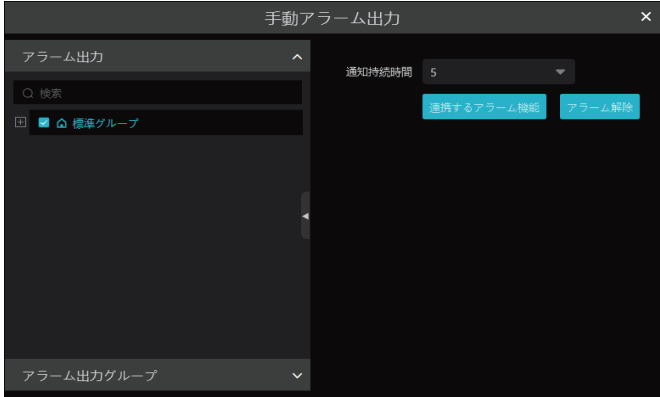
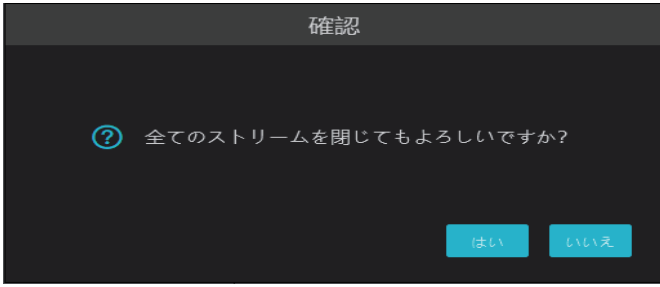
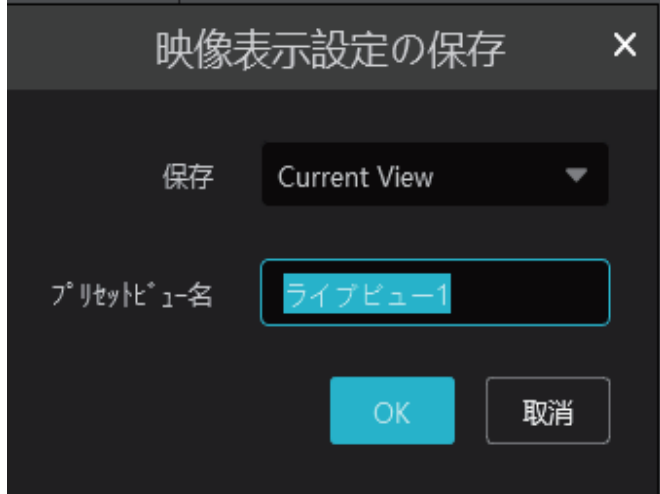
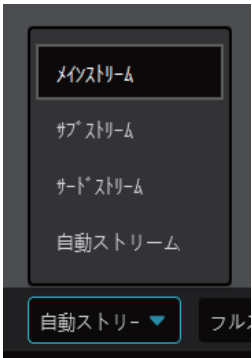


デバイスをダブルクリックしても表示されない場合、一旦ソフトを再起動して下さい。OS である Windows と本ソフトと PC ハードウェアの互換性の問題で、現在のバージョンでは再起動によって改善されます。

デバイス名の左側に有る**+**をクリックすると **NVR に接続されているカメラがツリー表示**されているカメラが表示されます。カメラをダブルクリックすると、その 1 台のカメラのみの映像が表示されます。2 台目以降のカメラを 1 つのライブビューで表示させたい場合、**最初に空欄の表示位置を選択**しデバイスリストから NVR またはカメラをダブルクリックします。

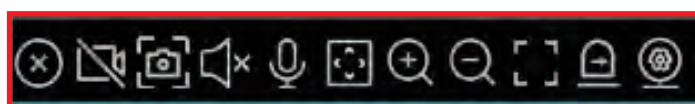
④ ライブウィンドの操作アイコン

	分割表示切替	4 分割 (2×2)、9 分割 (3×3)、16 分割 (4×4)、25 分割 (5×5)、36 分割 (6×6) ここで表示されるのは 36 分割までとなり、それ以上は次の「その他の分割表示モード」をクリックします。																																			
	その他の分割表示モード	36 分割以上の分割表示を選択します。また分割パターンや分割数をユーザーがカスタマイズする事も可能。最大 100 分割 (10×10)。カスタマイズする場合は「カスタマイズ画面モード」をクリックします。 標準画面モード: <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>10</td><td>13</td><td>16</td><td>17</td><td>21</td><td>25</td><td>33</td></tr><tr><td>36</td><td>49</td><td>64</td><td>81</td><td>100</td><td></td><td></td></tr></table> ワイド画面モード: <table><tr><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>7</td><td>9</td><td>12</td><td>16</td></tr><tr><td>24</td><td>36</td><td>48</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> カスタム画面モード: 	1	2	3	4	6	8	9	10	13	16	17	21	25	33	36	49	64	81	100			2	4	6	7	9	12	16	24	36	48				
1	2	3	4	6	8	9																															
10	13	16	17	21	25	33																															
36	49	64	81	100																																	
2	4	6	7	9	12	16																															
24	36	48																																			
	全画面表示	全画面表示の ON																																			
	OSD の表示 / 非表示	画面表示 OSD の表示／非表示切替																																			
	スピーカー ON/OFF	PC に接続されたオーディオデバイス（マイクなど）の音声を指定した NVR のオーディオ出力に接続されたスピーカーから流します。 音声一斉配信 デバイス 追加 選択を削除 画面終了は、音声放送を停止させます <table><thead><tr><th>デバイスと監視場所</th><th>デバイスの種類</th><th>状態</th><th>削除</th></tr></thead><tbody><tr><td>180.235.37.63</td><td>標準IPC/NVR/DVR</td><td>一斉配信し...</td><td></td></tr></tbody></table> IPチャンネル 音声一斉配信開始 一斉配信終了	デバイスと監視場所	デバイスの種類	状態	削除	180.235.37.63	標準IPC/NVR/DVR	一斉配信し...																												
デバイスと監視場所	デバイスの種類	状態	削除																																		
180.235.37.63	標準IPC/NVR/DVR	一斉配信し...																																			

 手動アラーム出力	選択した NVR のアラーム出力端子に接続されたデバイスに接点を手動で送ります。 
 スマートエリア検出 の非表示	スマート検知機能でエリア指定している際、ライブ映像にそのエリアを線で表示します。
 全てのストリームを 閉じる	表示されている映像を全て 閉じます。 
 映像表示設定の保存	表示パターンを保存します。 
 自動ストリー ム選択	メインストリーム（画質優先） 高画質の分ファイル容量が大きい為、スペックの低い PC では動きが悪い。主に 1 画表示、録画に使用します。 サブストリーム（動き優先） 低画質の分ファイル容量小さい為、再生の際の検索が早く、低スペックの PC でもスムーズに再生でき主に分割表示やモバイル送信に使用されます。 サードストリーム メイン及びサブストリームとは異なる設定ができ主にモバイル送信やストリーミング送信に利用します。任意的に使用を指定しない限り、自動で使われる事はありません。 自動ストリーム ソフトが PC スペックを判断し、メイン及びサブストリームを自動で判断し、メインとサブストリームを混合して表示します。 

フルスクリー ▼ アスペクト比切替	アスペクト比（表示対比）を選択します。通常はフルスクリーンとなります。	オリジナルサイズ 4:3 16:9 フルスクリーン フルスクリー ▼
---	--	---

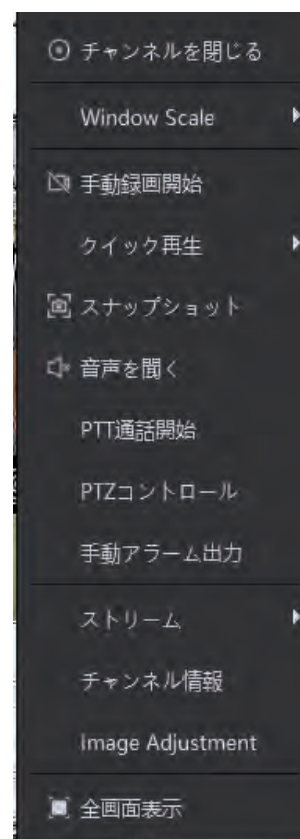
- ⑤ 表示されたカメラ映像の上にマウスポインターを置くと、サブメニューがチャンネル（カメラ）映像の下に表示されます。



	チャンネルを閉じる 再表示させる場合は再読み込みが必要となります
	手動録画の開始と停止
	スナップショット（静止画）撮影
	音声ON／OFF
	双方交通のON／OFF ※カメラにスピーカーが接続されている場合のみ有効
	PTZ 操作：左右パン・上下チルト・ズームイン／アウト。フォーカス調整 ※PTZ 対応のカメラが接続されている場合のみ有効
	3D パンチルドON／OFF ※3D パンチルド対応のカメラが接続されている場合にのみ有効
	デジタルズームイン／アウト
	ズームリセット
	手動アラーム出力
	デバイス（カメラ）設定

⑥ 表示されたカメラ映像（チャンネル）上でマウスを右クリックする事で**サブメニュー**が表示されます。

チャンネルを閉じる	
Window Scale	アスペクト比切替
手動録画開始	
クイック再生	指定した時間前から再生
スナップショット	静止画撮影
音声を聞く	音声ON/OFF
PTT 通話開始	双方交通はON/OFF
PTZ コントロール	
手動アラーム出力	
ストリーム	メインストリーム、サブストリームの切替
チャンネル情報	
Image Adjustment	画像調整 ※輝度・彩度・コントラスト・色合いの調整
全画面表示	

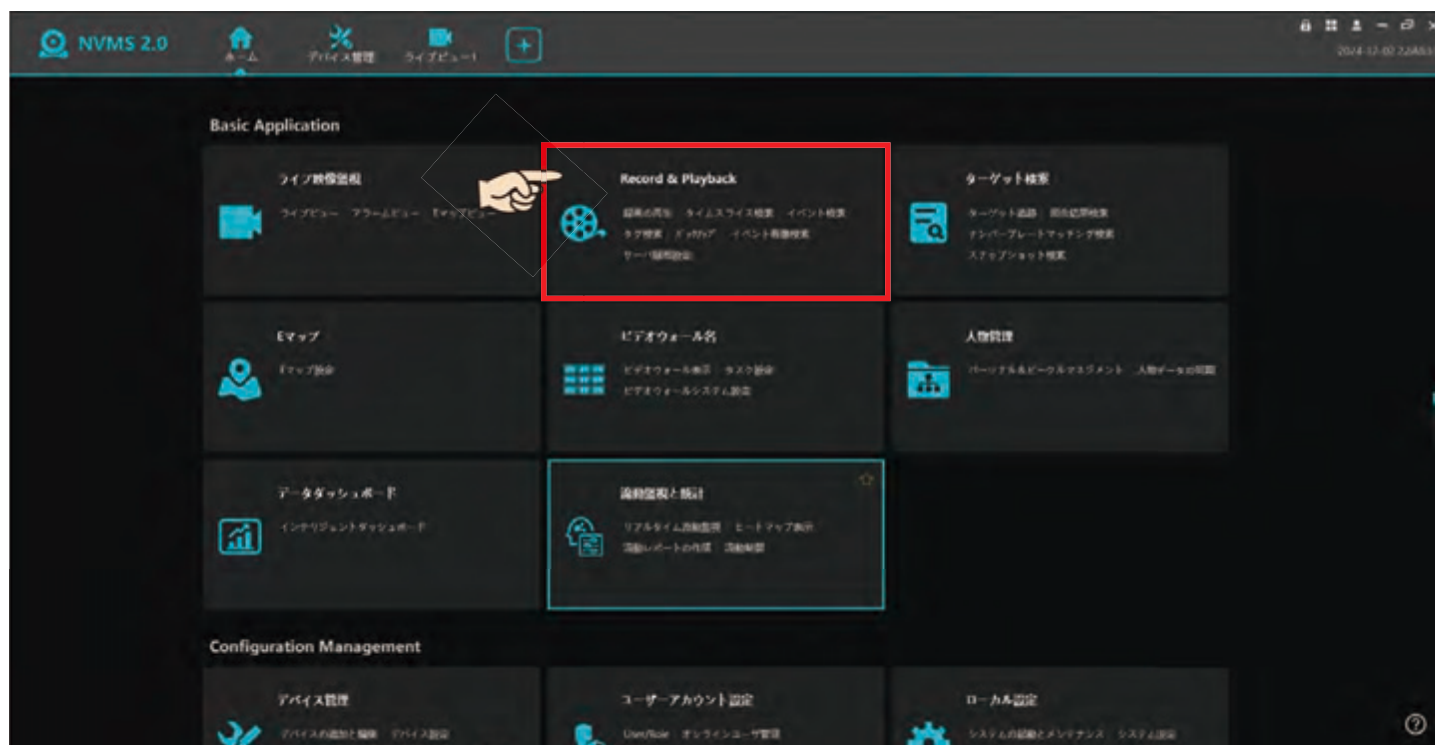


PCソフト「NVMS 2.0」再生

NVR 内のハードディスク（HDD）に録画保存された映像データを再生するには、まず再生させたいデータを探す（検索）する所から始まります。

注意 本製品の特性上、**NVR にカメラが接続されライブ映像が表示できる状態**でないと、データを検索する事も再生する事もできません。例えば以前は4台のカメラが接続されていたが、現在は1台故障し外してあり3台の状態。ここから過去に4台接続されていた映像をリモートで再生する事はできません。

① ホームから **Record & Playback** をクリックします。

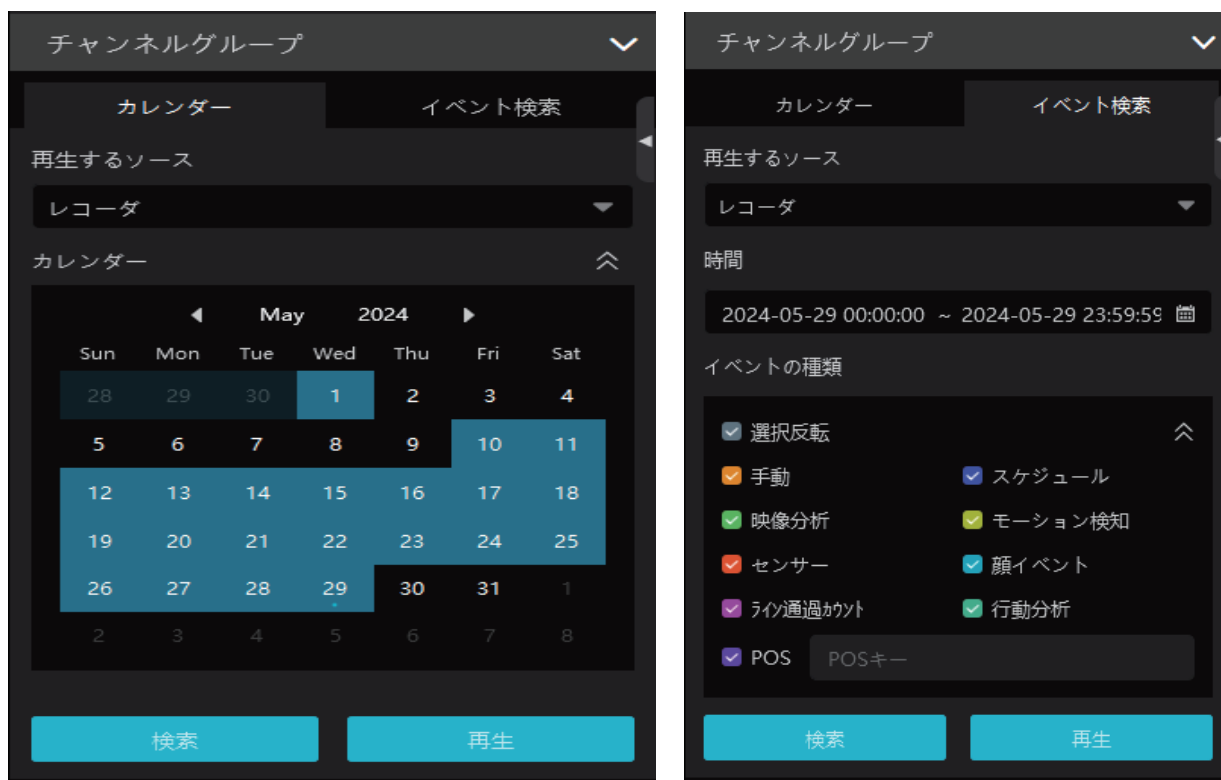


- ② **標準モード** が選択されている事を確認し、デバイス（レコーダー）単位の場合、デバイスグループ内に表示されている、再生したいデバイスにチェックを入れます。またはデバイスの **+** をクリックし、ツリー表示を展開し NVR に接続されているカメラ単体にチェックを入れます。



- ③ カレンダーから再生したい日付を選択し **検索** をクリックします。イベント検索の場合、再生したい期間を日付と時間から指定し、検索条件となるイベントのチェックのみを外し **検索** をクリックします。

メモ デフォルトでは全てのイベントにチェックが入った状態になっています。**全て選択** をクリックする事で全てのイベントのチェックを外したり入れたりする事が出来ます。



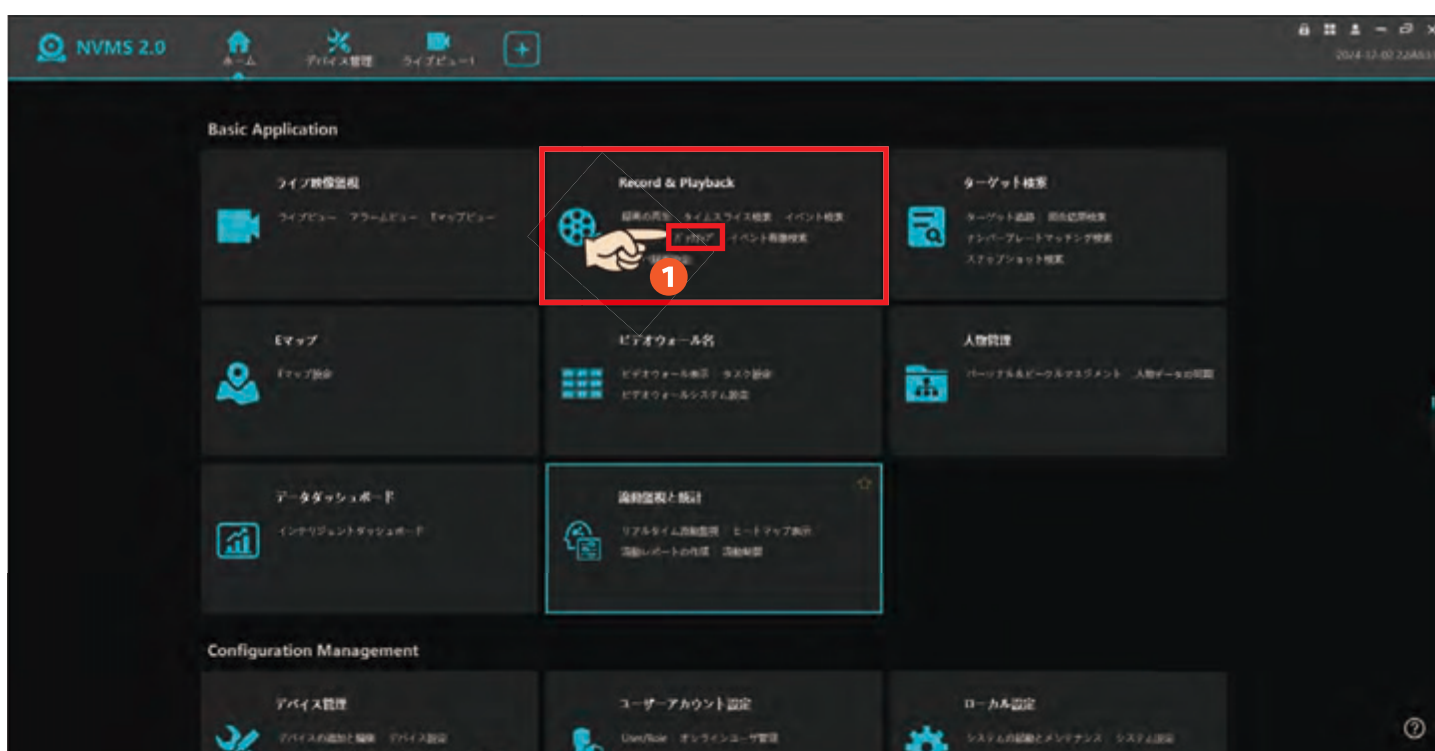
- ④ **再生** をクリックすると、全てのチャンネルで同時に再生が開始されます。
 タイムバーは 24 時間で表示されます。チャンネルごとに再生を開始した一点をダブルクリックすると、4 台のチャンネルはそれぞれ独立して再生を行います。

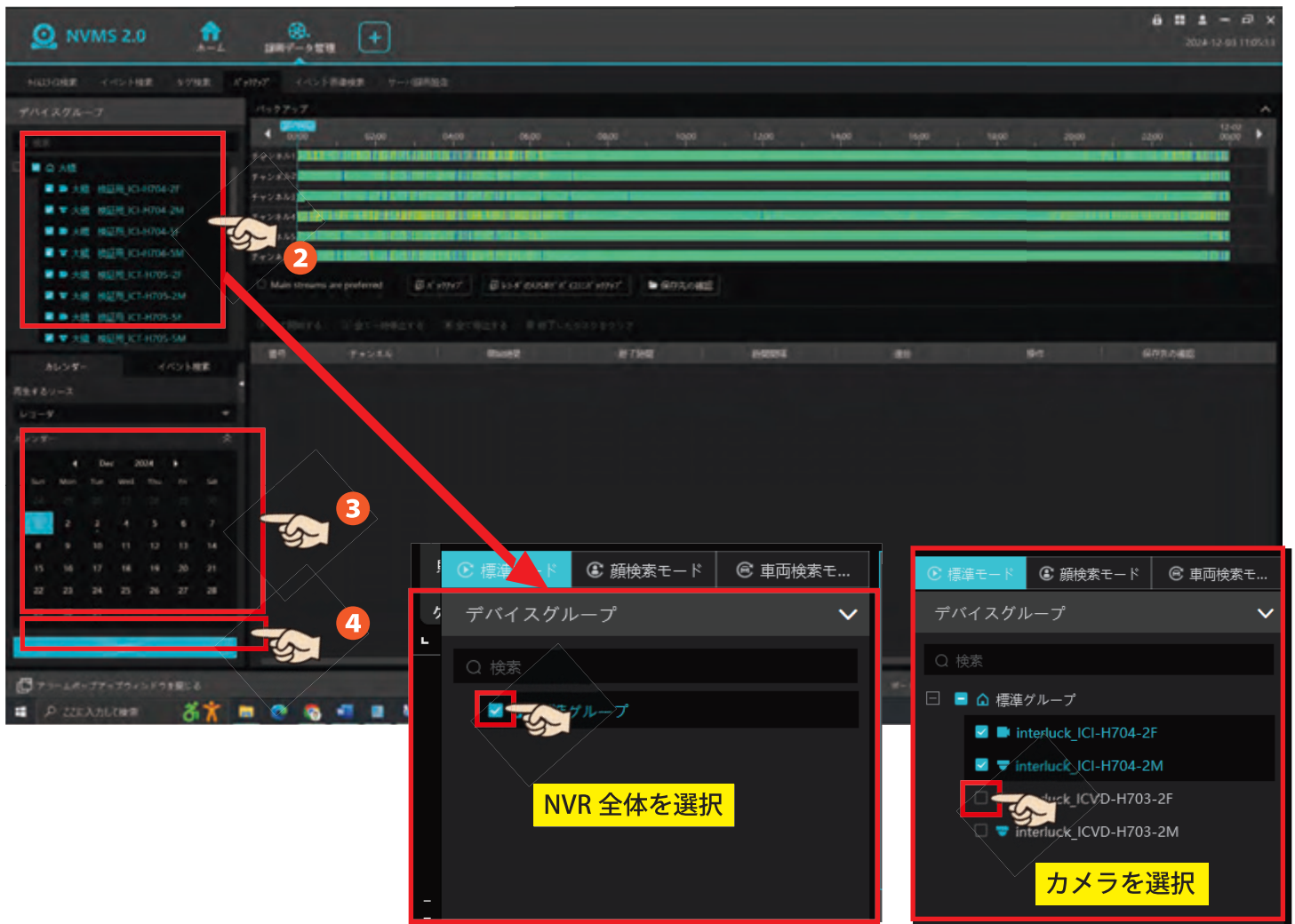


注意 最近の NVR の場合、高画質で大容量のデータを高速で処理する為、基本は**カメラ 1 台 (1 チャンネル) 単位での再生が基本**となります。複数台のカメラを分割で再生させる場合、単に 1 台再生のカメラを分割同時再生している為、**長時間の再生の際にはタイミングのずれが発生**します。

PCソフト「NVMS 2.0」バックアップ

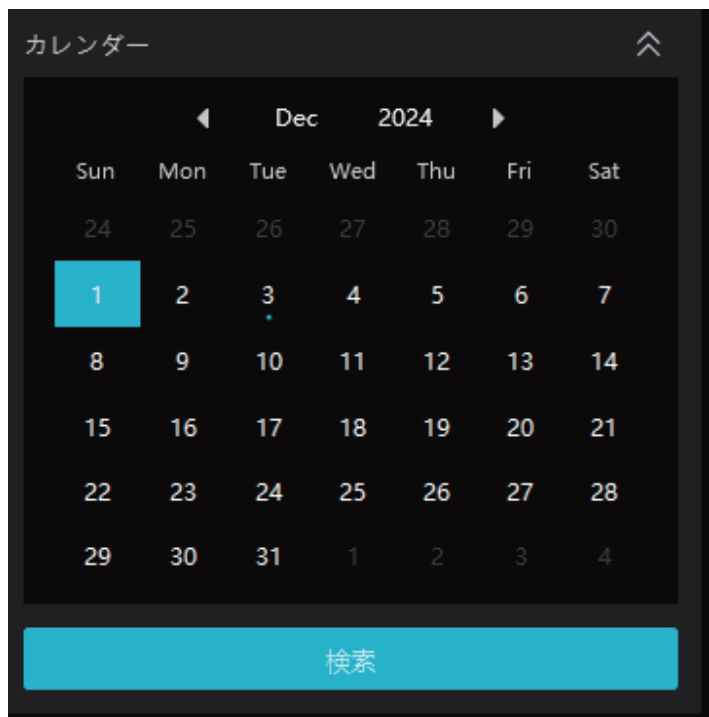
- ① ホームから **Record & Playback** 内の **バックアップ** をクリックします。
- ② デバイス (レコーダー) 単位の場合、**バックアップしたいデバイスにチェック**を入れます。またはデバイスの **+** をクリックし、ツリー表示を展開し NVR に接続されている**カメラ単体にチェック**を入れます。
- ③ 目的の日をカレンダーから選択し **検索** をクリックします。





④ カレンダーからバックアップしたい日付を選択し **検索** をクリックします。イベント検索の場合、バックアップしたい期間を日付と時間から指定し、検索条件となるイベントのチェックのみを外し **検索** をクリックします。

メモ デフォルトでは全てのイベントにチェックが入った状態になっています。**全て選択** をクリックする事で全てのイベントのチェックを外したり入れたりする事が出来ます。

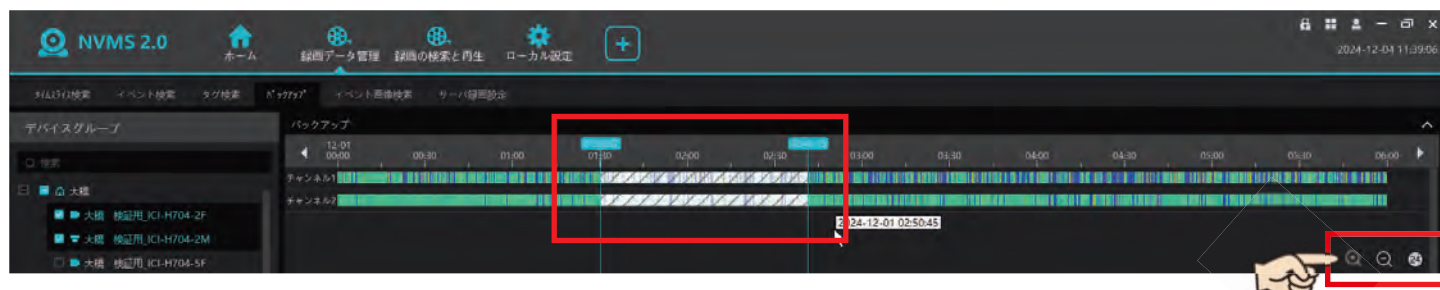


カレンダー選択の場合



イベント選択の場合

- ⑤ タイムバー上でバックアップ開始時間をクリックし、そのままドラッグ&ドロップで終了時間まで移動させます。
タイムゾーンのスケールは、タイムゾーンの右端にマウスカーソルを移動すると「⊕ ⊖ ②④」のアイコンが表示されるので、クリックする事で 24 時間表示から 12 時間 → 6 時間 → 3 時間 → 1 時間 → 36 分表示となります。



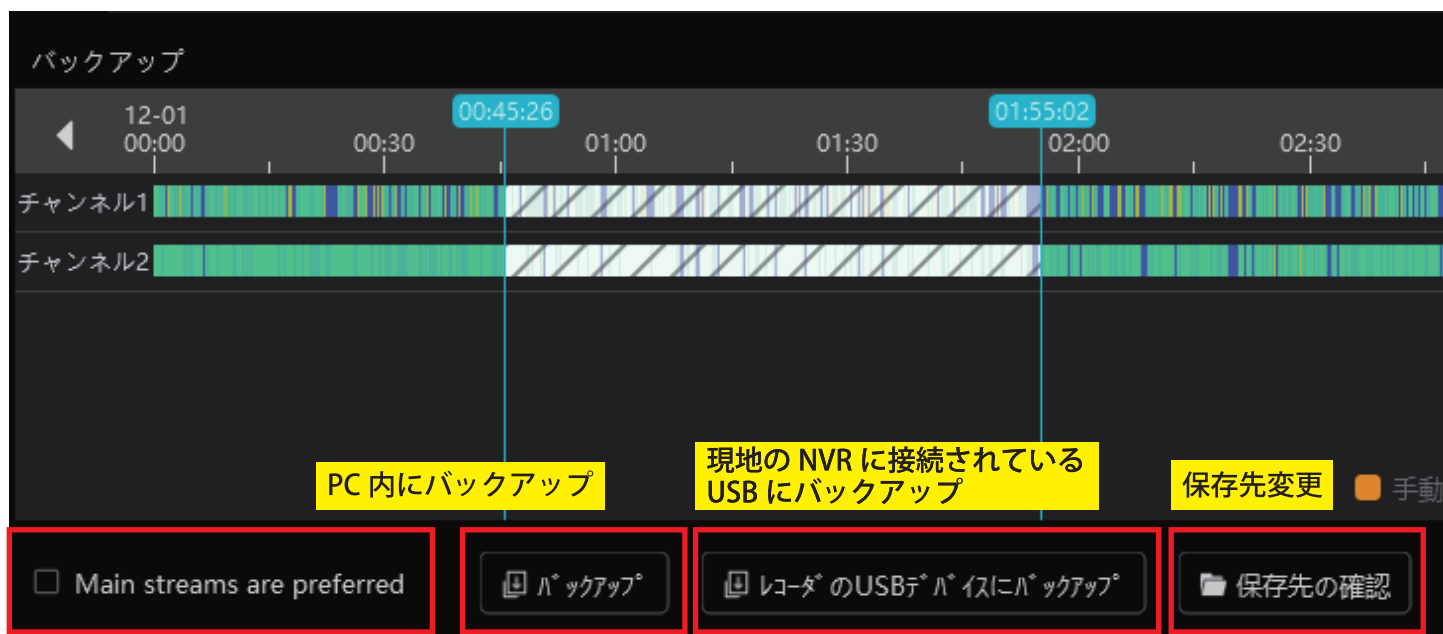
PC クライアントソフトを用いてのバックアップには 2 種類の方法があります

- A. お使いのパソコン内の指定したフォルダに直接ダウンロード（バックアップ）し、必要に応じてパソコンから別メディア（USB メモリー、外付け HDD/SSD/CD-ROM など）にコピーまたは移動します。

NVR 本体が手元に無くても、1 人作業で行う事が出来ます。NVR 側も特別確認しない限り、リモート（遠隔接続）からダウンロード（バックアップ）されている事に気が付きません。しかし、ダウンロード（バックアップ）中、常にバックアップする方、される方共に通信（インターネット）回線を独占する為、ネット回線に与える負担と通信速度の低下に多少影響が出る場合もあります。基本はダウンロード（バックアップ）中はパソコンでの他の作業はしない方が成功率は上がります。

注意 PC クライアントソフトを用いてのリモート（遠隔）バックアップは、通信と書き込み作業の 2 つを行う為、通常の NVR 直接のバックアップより所要時間が長くなり、インターネット環境によっては途中で強制切断させられ、最初からやり直す率も高くなります。

メインストリーム（動き優先）ファイルをバックアップ（ダウンロード）する場合は「**Main streama are preferred**」にチェックを入れます。サブストリーム（動き優先）をバックアップ（ダウンロード）する場合はチェックを外して下さい。バックアップ時間を設定後、「**バックアップ**」をクリックします。バックアップファイルはデフォルト設定では C ドライブのバックアップフォルダに保存されます。保存先を変更したい場合は、「**保存先の確認**」から行えます。



- B. NVR 本体に直接接続されている USB メモリーにダウンロード（バックアップ）します。
パソコンからコピーまたは移動する手間と時間がかからず、ダウンロード（バックアップ）中もパソコンのスペックを落とす事無く、普通に使用する事が出来ます。
但し NVR 本体が手元に有るか、遠隔地の場合は誰かに USB の管理（USB メモリーのフォーマット、接続、回収）をお願いする必要があります。

注意 PC クライアントソフト上では NVR のストレージ（内蔵 HDD や USB ポートに接続されているメディア）のフォーマットは出来ません、正常にバックアップされたか、USB メモリーの中を確認する事も出来ない為、実際に使用する機会は少ないと思います。

バックアップ時間を設定後、**レコーダーの USB デバイスにバックアップ** をクリックします。

NVR 側の USB メモリーに何らかの問題が発生している場合、USB メモリーが接続されていない場合、書き込みができない場合などは「USB デバイスが未接続」や「USB デバイス検出失敗」など、メッセージが表示されます。

PC クライアントソフトを利用しインターネットを介してのバックアップ (ダウンロード) にかかる**時間の目安**は？

条件：5.0MP の室内カメラを 1 時間、1 台バックアップ (ダウンロード) した場合、AVI / MP4 / メイン / サブストリーム問わず、**約 6 分 30 秒前後**の時間がかかります。

メインストリームの場合、ファイルサイズは AVI / MP4 問わず**約 1.7GB 前後**ですが、**ファイルに 4 つ**に分けられます。

サブストリームの場合、ファイルサイズは AVI 方式で**約 280MB 前後**。MP4 方式で**約 230MB 前後**となります。

メ モ

メ モ

■国内輸入元事業所：有限会社インターラック

製品に対するお問い合わせは、製品をお求め頂きました販売店にお願いいたします

【販売店印】